

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価の結果に関する報告書

(令和2年度施策・実施事業分)

令和3年9月

宇陀市教育委員会



## はじめに

宇陀市教育委員会は、教育行政の充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、令和 2 年度に執行した教育委員会の主な事業を宇陀市教育大綱に基づく基本方針の項目ごとに分類し、目標の達成状況及び進捗状況について宇陀市教育行政点検評価支援員の意見を踏まえながら点検・評価を行い、本報告書をまとめました。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 宇陀市教育委員会

教育長 田淵 泰央

委員 巽 礼子

委員 吉川 壽一

委員 峯畑 忠郎

委員 山本 眞二

## 1 施策・事業点検及び評価の実施概要

宇陀市教育委員会は、「宇陀市教育大綱」及び年度ごとの「学校教育の指導方針」、「生涯学習の振興指針」等に基づき、社会環境や財政状況に弾力的に対応した施策・事業を遂行しています。

その具体的な取組に関して目標達成状況等を踏まえた点検・評価を行いました。

今回の点検・評価の対象は令和2年度に実施したうちの主な施策・事業です。

## 2 宇陀市教育行政点検評価支援員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが点検・評価をした結果について学識経験者2人に点検評価支援員を委嘱し、教育面での効率性・有効性の観点から改善点などについてご意見をいただきました。

施策・事業を見直す上で、点検評価支援員の専門的で尚且つ市民目線に立った指摘を総合的かつ客観的に捉え、また、真摯に受け止め、職員の意識改革につなげてまいります。

### ■支援員の氏名

北森 基之 氏（宇陀市在住）

田中 三彦 氏（宇陀市在住）

### ■点検評価支援員と教育委員会事務局職員による会議開催

令和3年7月26日（月） 午前9時～午後5時

〔教育委員会が行う事業の概略説明と質疑応答、点検評価支援員からの総括的な意見〕

## 3 教育委員会の主な運営・活動状況

総合教育会議において、宇陀市の目指すべき教育を「宇陀市教育大綱」としてまとめ、この大綱に基づく4つの基本目標とそれらを推進するための25項目の基本方針に則って課題に取り組んでいます。

令和2年度も、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4並びに第14条及び第21条に基づき、次に掲げる教育に関する事務を管理し、執行いたしました。

- ・教育委員会会議
- ・総合教育会議
- ・教育方針及び教育計画の策定
- ・教育に係る調査及び統計
- ・学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止
- ・事務局及び教育機関の職員の人事
- ・児童生徒の就学
- ・学校の組織編制、教育課程、学習指導
- ・教科書その他の教材の取扱い
- ・事務局及び教育機関の職員の服務及び研修
- ・学校施設及び設備の整備
- ・教職員に対する指導助言
- ・学校保健
- ・学校給食
- ・生涯学習の振興に係る施設の企画及び調整
- ・社会教育の基本計画及び総合調整
- ・社会教育に関する施設の設置及び管理
- ・社会教育団体の指導育成
- ・家庭教育、青少年教育、成人教育及び公民館事業
- ・文化及び芸能の振興
- ・スポーツ・レクリエーションの指導奨励
- ・文化財の保護、活用及び啓発
- ・文化財の指定、調査、研究、記録及び資料の作成 等

#### ◆総合教育会議の開催

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に基づき、3回開催されました。

#### ■令和2年度第1回宇陀市総合教育会議（令和2年9月18日）

- ・宇陀市の子ども達の現状について
- ・コロナ禍における学校教育の現状について
- ・今後の学校教育の方向性について

#### ■令和2年度第2回宇陀市総合教育会議（令和2年12月4日）

- ・宇陀市教育大綱の一部改訂について
  - ① 改訂の趣旨について
  - ② 「Ⅰ 教育の基本理念」、「Ⅱ 基本目標」について
  - ③ 「Ⅲ 基本方針」について

#### ■令和2年度第3回宇陀市総合教育会議（令和3年2月8日）

- ・宇陀市教育大綱の一部改訂について
  - ① 改訂版の示し方について
  - ② 宇陀市教育大綱改訂版の修正案について

#### ◆教育委員会会議の開催

教育委員会会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条及び「宇陀市教育委員会会議規則」に基づき、令和 2 年度は定例会 12 回と臨時会 1 回、合計 13 回の会議を開催しました。

教育委員会会議は原則公開しています。令和 2 年度の傍聴者は 15 名でした。

#### ◆教育委員会審議案件等の実績

教育委員会会議では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「宇陀市教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、種々の案件について十分な議論、審議を行いました。

さらに、各担当課から所管する事務について詳細な報告や協議を行うことで、教育委員会と事務局が同一の施策の方針の下で、一層事業が充実、推進されたと考えています。

#### <令和 2 年度の審議案件>

##### ■4 月定例教育委員会（4 月 28 日）

- ・宇陀市社会教育委員及び宇陀市公民館運営審議会委員の委嘱について
- ・宇陀市教育支援委員会委員及び調査員の任命及び委嘱について
- ・宇陀市スポーツ推進委員の委嘱について

##### ■5 月定例教育委員会（5 月 27 日）

- ・令和 2 年度宇陀市教科用図書選定委員会委員の任命及び令和 3 年度使用中学校教科用図書採択に係る諮問について
- ・令和 2 年度宇陀市教科用図書選定委員会調査研究員の任命について
- ・令和 2 年度宇陀市教育支援委員会結果の答申について

##### ■6 月定例教育委員会（6 月 17 日）

- ・「宇陀市学校給食関係事業者支援交付要綱」の制定について

##### ■7 月定例教育委員会（7 月 15 日）

- ・宇陀市学校給食センター運営協議会委員の委嘱について
- ・宇陀市文化財保護審議会委員の委嘱について

- ・ 史跡宇陀松山城保存整備委員会委員の委嘱について
- ・ 令和 2 年度宇陀市教育行政点検評価支援員の選任について
- 8 月定例教育委員会（8 月 19 日）
  - ・ 史跡森野旧薬園保存整備委員会委員の委嘱について
- 8 月臨時教育委員会（8 月 24 日）
  - ・ 令和 3 年度使用中学校教科用図書採択について
- 9 月定例教育委員会（9 月 30 日）
  - ※ 審議案件なし
- 10 月定例教育委員会（10 月 23 日）
  - ・ 宇陀市松山地区まちかどラボ条例の制定について
- 11 月定例教育委員会（11 月 25 日）
  - ・ 令和 2 年度第 2 回宇陀市教育支援委員会の審議結果について
- 12 月定例教育委員会（12 月 18 日）
  - ・ 宇陀市修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の制定について
  - ・ 宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について
- 1 月定例教育委員会（1 月 20 日）
  - ・ 宇陀市立図書館デイジー図書等貸出事業実施要綱の制定について
- 2 月定例教育委員会（2 月 24 日）
  - ・ 宇陀市まちかどラボ管理運営規則の制定について
- 3 月定例教育委員会（3 月 24 日）
  - ・ 宇陀市立学校評議員要綱の一部改正について
  - ・ 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画策定委員会設置要綱の一部改正について

#### ◆ 教育委員会会議以外の活動

##### [学校訪問]

学校長等から、今年度の学校経営の重点項目、教育課程の特色、創意工夫の点などについて説明を受け、その後、「学校教育法施行規則」及び「宇陀市学校管理運営規則」に基づく次に示す各種表簿を点検しました。

##### <各種表簿>

学校日誌・出勤簿・旅行命令簿・教育計画書（教育課程）  
指導要録・健康診断に関する表簿・薬品管理簿等

学校施設・設備の視察・点検を行い、児童生徒等の学習活動の様子を参観しました。その後、改善点について意見交換を行うとともに教育の課題を探り、学校長等に対し指導・助言を行いました。

また、残念ながら入学式、体育大会の学校行事は新型コロナウイルスの影響により参加することはできませんでしたが、卒業式への参加を通じて、児童生徒の活動状況を参観しました。

奈良県教育委員会が定める「学校教育の指導方針」ならびに「宇陀市学校教育の指導方針」に添った教育がなされているか、教育委員、教育長、指導主事及び事務局職員により、次に示す観点で実態を調査しました。

＜実態把握の観点＞

県及び市の学校教育に関する方針に添った重点施策  
学校の経営方針・教育課程（教育方針と重点指導）  
特別支援教育・道徳・人権教育・生徒指導・研究主題  
職員研修・児童生徒の安全確保と危機管理・評価の実施と公開  
家庭や地域との連携等

令和2年度は、10月から11月にかけて小学校6校、中学校4校、幼稚園2園、こども園3園、保育園2園を訪問しました。

◇室生小学校 室生中学校 榛原東小学校	令和2年10月13日
◇榛原小学校 榛原幼稚園	令和2年10月14日
◇榛原西小学校 榛原中学校	令和2年10月26日
◇しらゆり保育園 榛原東幼稚園	令和2年10月27日
◇榛原北保育園 室生こども園	令和2年10月28日
◇菟田野小学校 菟田野中学校	令和2年11月4日
◇大宇陀こども園 菟田野こども園	令和2年11月9日
◇大宇陀小学校 大宇陀中学校	令和2年11月10日



[教育委員・教育長研修等]

以下の研修等を通じて、自己研鑽に努めるとともに教育事情調査や教育相談等の日常活動に努めています。

◇奈良県都市教育長協議会

令和2年 4月21日 (橿原市)

令和2年 7月20日 (橿原市)

令和2年 10月30日 (橿原市)

◇市町村教育委員会オンライン協議会

令和2年 2月17日 (オンライン)

◇近畿都市教育長協議会定期総会

新型コロナウイルスの影響により中止

◇近畿都市教育長協議会研究協議会

新型コロナウイルスの影響により中止

◇全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会

新型コロナウイルスの影響により中止

◇近畿市町村教育委員会研修大会

新型コロナウイルスの影響により中止

◇奈良県市町村教育委員会連合会会議

新型コロナウイルスの影響により中止

◇奈良県市町村教育委員会研修大会

新型コロナウイルスの影響により中止

#### 4 各施策・事業の取組状況と支援員の意見

**各施策・事業点検評価シート**は、「宇陀市教育大綱」に沿って、項目ごとに主な施策・事業を点検し、評価した結果です。

シート中の「達成度」「必要性」「有効性」とは、教育委員会が次の基準により判断したものです。

- A 高い (概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた。)
- B やや高い (ほぼ目標を達成したが、改善の余地がある。)
- C やや低い (目標をあまり達成できなかったため、改善を要する。)
- D 低い (目標を達成できなかった。)

## 点検・評価 施策・事業の一覧

宇陀市教育大綱に基づく主な施策・事業		自己評価			今後の方針
		達成度	必要性	有効性	
<b>1 社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう</b>					
1	小中学生基礎学力向上事業	B	A	A	1
2	教職員の研修事業	A	A	A	2
3	外国語活動指導助手設置事業	B	A	A	3
4	プログラミング教育の導入に伴う調査・研究事業	A	C	A	5
5	小中学校情報機器等整備事業	A	A	B	2
6	安全・安心メール配信システム運営事業	A	A	A	2
7	宇陀市学校施設長寿命化計画策定事業	A	A	A	5
8	新型コロナウイルス感染症に対応した学校教育活動支援事業	B	A	A	3
9	宇陀市学校規模適正化検討事業	A	A	B	3
10	成人式事業	A	A	A	2
11	図書返却ポスト事業	B	A	A	2
12	宇陀市図書館を使った調べる学習コンクール実施事業	C	A	A	2
13	図書館機能充実事業	B	A	A	2
<b>2 地域全体で子どもを見守ろう</b>					
14	ぬくもり修学奨励資金支給事業	A	A	A	2
15	教育相談事業	A	A	A	1
16	子どもフェスタ事業	-	A	A	2
17	子ども活動支援事業	B	A	A	2
18	青少年育成支援事業	A	A	A	2
<b>3 家庭の豊かな教育力を育もう</b>					
19	適応指導教室運営事業	A	A	A	1
20	学校給食賄材料購入事業	B	A	A	2
21	給食センター建替えに伴う資料作成事業	A	A	A	1
22	働く子育て世代の図書館利用の充実事業	C	A	B	3
<b>4 「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう</b>					
23	通級指導教室運営事業	A	A	A	2
24	市美術展事業	A	A	A	2
25	宇陀シティマラソン事業	-	A	A	2
26	市民スポーツ大会事業	A	A	A	2
27	近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部	-	A	A	2
28	総合体育館・総合運動場運営事業	B	B	A	2
29	室内温水プール及びテニスコート管理運営事業	B	B	A	2
30	小学校水泳教室事業	-	A	A	2
31	水泳教室事業	B	A	A	2
32	宇陀市小学校対抗子ども駅伝大会事業	-	A	A	2
33	大人のための運動教室事業	A	A	A	1
34	公民館管理運営事業	A	A	A	2
35	各種講座・教室事業	A	A	A	2
36	社会教育推進講座事業	B	A	A	2
37	寄贈資料の管理運営事業	B	A	B	2
38	文化財保存修理等補助事業	A	A	A	2
39	薬の館管理運営事業	A	A	A	2
40	重要伝統的建造物群保存地区保存事業	A	A	A	2
41	埋蔵文化財発掘調査事業	A	A	A	2
42	史跡宇陀松山城跡保存整備事業	A	A	A	2
43	史跡森野旧薬園保護事業	A	A	A	2
44	国指定天然記念物等保護再生事業	A	A	A	2
45	国県指定史跡災害復旧事業	A	A	A	2

自己評価 「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い、「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可  
 今後の方針 「1」さらに重点化、「2」現状のまま継続、「3」見直しのうえ継続、「4」縮小・休止、「5」終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	1
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	小中学生基礎学力向上事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	①学ぶ意欲、家庭学習の習慣化、教職員の資質向上(UDAスタンダードの推進)		
事業の目的・内容	<p>子どもの学力や学習状況に関する調査・研究を行うとともに、そこから見える諸課題の改善に向けた事業を行う。また、それら諸課題の改善に向けた取組について、研究校を指定し、その取組を支援するとともに、その成果発表会を行い市内全校への普及を図る。児童生徒の学習意欲、学力、学習習慣の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇陀市学力・学習状況調査の実施及び結果分析及び宇陀市生活行動・学習活動調査(学習生活アンケート)の実施及び結果分析</li> <li>・市、国の学力・学習状況調査の結果からまとめた「UDAスタンダード」(授業改善・家庭学習の習慣化)の推進及び実践交流</li> <li>・宇陀市研究校を指定し、幼小中の連携を推進</li> </ul>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症予防の観点から、今年度の市・国の学力テストは未実施。研究校の指定や実践交流等も実施出来なかった。宇陀市生活行動・学習活動調査(学習生活アンケート)については、時期を変え実施出来た。家庭学習は中学校でより改善している。授業に関する4項目(話し合い・発表する機会・めあて・ふりかえり)は小5、中1、中2、中3で改善している。UDAスタンダードは徐々にではあるが浸透しつつあるとことが分かった。家庭学習や授業の項目において、全体的には改善されてはいるが、一部で著しい低下も見られる。これからも課題改善に向け、効果的な取組をモデルとして市全体で取り組んでいくことが必要である。</p>				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・学校で行う授業の質の向上に当たっては、教育委員会の指導の下、各学校の創意工夫によって進めており、一定の成果も出ている。しかし、家庭学習については、家庭の理解や協力がなければ難しい。保護者の価値観や生活様式が多様化している今、各家庭に応じて信頼関係の築き方を工夫しなければ、家庭の協力関係を得ることは難しい。また、経済的に苦しい家庭の子どもほど家庭学習の時間が短いという報告もある。放課後の学力補充や経済的な支援についても、市として取り組んでいただきたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で、市と国の学力テストは実施されていない。基礎学力の向上には、授業研究を中心とした授業改善とベースとなる家庭教育の推進が欠かせない。宇陀市の生活行動・学習活動調査は実施できた。UDAスタンダードは、徐々に浸透し、少しずつ改善が見られる。一部著しい低下のあったところは、子どもの実態を把握し、目標を定め、焦らず取組を継続していく必要がある。</p>
------------	---

今後の取り組み	<p>授業研究を中心とした授業改善や宇陀市の教育の諸課題の改善に向けた取組について、研究校を指定し、その取組を支援するとともに、その成果発表をWebページ等を活用し市内の全ての学校に普及を図る。</p> <p>令和2年度に導入した1人1台パソコンを授業や家庭学習に活用していくことで、個別最適化された学習による学力の定着に取り組む。また、放課後学習教室や土曜塾などで学力の補充を図る取組を支援していく。</p>	
	方 針	1

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	2
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教職員の研修事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	①学ぶ意欲、家庭学習の習慣化、教職員の資質向上(UDAスタンダードの推進)		
事業の目的・内容	宇陀市の教育に関わる独自課題、今日的課題の職員研修を行い、教職員の資質・能力及び指導力の向上を図る。 ・宇陀市教育センター研修(6回) ・宇陀市初任者研修(2回) ・宇陀市特別支援教育コーディネーター研修(3回)				

担当課による自己評価	成果・課題	実施した研修に参加した教職員の過半数が「知識理解が深まった。」「今後の実践を進めていく上で参考になった。」と肯定的に答えていることから、一定の成果があったものとして考えている。 特別支援教育に関する研修は人材育成・指導力の向上の点からも計画的に実施している。管理職・コーディネーターを中心にした学校の対応力の向上のためには、毎年実施が必要と引き続き考えている。 また、各校種別の研修のみならず、校種間の接続を考えた研修も今後必要と考える。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>文科省は、教員免許更新制度廃止の方向性を示しており、今後、教員の主体的に学ぶ姿勢が一層問われることになる。宇陀市教育センター研修の実施に当たっても、教員の力量アップにつながるような魅力ある講座を工夫し、宇陀市の学校教育を深化させていただきたい。また、「知識理解が深まった」で終わることなく、「その後の教育実践がどう深まったか」を出し合う場を設定することも大切にしたい。教員の指導力、力量は、知識理解だけではなく、実践によって高められるものだと思う。</li> <li>宇陀市子どもたちの課題として、学ぶ意欲の向上と家庭学習の習慣化、また特別支援教育の充実が挙げられる。新型コロナウイルスの影響で、研修時間や研修方法の見直しが求められる中、教育センターとしての機能を発揮して、事業を集約化して行っており、今後も継続した取組が大切になると考える。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で、オンライン研修が多くなってきている。今後もこのような研修形態が主流となることを考え、通信環境の改善を図っていくとともに、教職員のニーズ調査などを通して、研修内容の重点化を図りたい。そして教員の資質・能力の向上に資するよう、研修内容が日々の実践の中で生かされているかなども評価しながら改善を図る。また、新型コロナウイルスの状況により集合型の研修機会が少なくなっているが、職員同士のコミュニケーションが図れるように、分散型や人数制限を行った研修も実施する。</li> </ul>	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	3
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	外国語活動指導助手設置事業				
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう			
		Ⅲ基本方針	②プログラミング教育や英語教育を通して次世代を担う人材の育成			
事業の目的・内容	<p>子どもたちのコミュニケーション能力を養い、英語活動を通して異文化に触れさせることを目的とし、英語教育の充実及び国際理解教育の推進を図る。</p> <p>市内全小学校にALT(外国語指導助手)を配置し、外国語活動の授業でクラス担任と連携し、小学校3・4年生「Let's Try!」小学校5・6年生「We Can!」等を活用したチームティーチングを行う。小学5、6年生のクラスに対し年間30回、小学3、4年生のクラスに対して年間15回、小学1、2年生のクラスに対し年間10回ALTを派遣した。(外国語活動及び国際理解に関する教育の補助・外国語教材作成の補助)幼稚園、こども園、保育園、子育て支援センターに年間各10回訪問し、英語活動を行った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症による臨時休校期間中においては、教員に対し、ALTによる英会話レッスンを行ったほか、ALT自身が歌やアクティビティをビデオ録画し、幼稚園に配布をした。</p>					

担当課による自己評価	成果・課題	<p>子どもたちは授業で生きた英語に触れることにより、ALTの出身国の生活や行事などを知り、異文化や海外事情に興味を持ち、日本との違いに気付くなどグローバルな視点を育むことができる。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症により「English Village～英語村で遊ぼう2020～」が中止になった。今後においては、コロナ禍でも子どもたちがALTと触れ合うことができるよう、ALTの活用方法を工夫し、子どもたちが学びの意欲を高め、成果を実感することができる効果的な英語教育及び外国語活動の指導につなげたい。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・小学校への英語専科教員の配置が未だ進んでいない現状において、ALTの配置は、英語教育、外国語活動を進める上で、とても有効な手だてとなっている。子どもたちにとっても、ネイティブな言語に触れるということだけでなく、外国の人と間近に接し、話す体験はとても貴重である。今後もこの事業が継続され続けることを望む。</p> <p>・小学校の教科化が進む中、学年ごとに学ぶ機会を確保し、幼稚園や保育園、子育て支援センターでもネイティブな英語に親しみ、コミュニケーション能力を培う貴重な機会となっている。新型コロナウイルスによる休校中は、ALTによる英語レッスンを行なうなど活用を工夫し、外国語活動の指導につなげている。継続して、工夫改善を行い、学ぶ意欲の向上につなげたい。</p>
------------	---

今後の取り組み	<p>小学校の教科化が進む一方、英語専科教員の配置が進んでいない現状において、小学校へのALTの配置日数の確保は必須であり、今後は義務教育9年間の全体像を把握した上で、外国語教育の更なる充実や条件設備に努め、小学校における学びを中学校につなげていく。</p> <p>また、就学前施設においては小学校の英語教育との連続性に重点を置き、子どもたちが英語に親しみ楽しめるものとなる内容となるよう更なる充実を図る。</p>	
	方針	3

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	4
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	プログラミング教育の導入に伴う調査・研究事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	②プログラミング教育や英語教育を通して次世代を担う人材の育成		
事業の目的・内容	<p>平成29年3月に告示された新学習指導要領において、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「プログラミング的思考」を育成するため、令和2年度から小学校においてプログラミング教育が必修化される。</p> <p>宇陀市では、平成30年度に行った指導者育成及びモデル校での実践研究を踏まえ、令和元年度からの先行実施に向け、必要な教材、通信環境等の準備、整備を行ってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会で整備したプログラミング関連教材の使い方の研修の実施。</li> <li>・ICT活用に関する知識と実践力を有し、市をリードしていく教員の育成。</li> <li>・プログラミング教育の指導案などの共有。</li> </ul>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>・教育委員会で整備した教材を各小学校に紹介し、利用を希望する学校へ貸出をした。それらを活用した授業に関する研修会を行う予定であったが、コロナ禍のため実施できなかった。臨時休業による授業時間不足を補うため、プログラミング教育担当者会の開催は中止した。</p> <p>・本事業で教材を揃え、年間計画を作成し、担当者会を開き、研修を行うことを通じて、各小学校の教育課程に位置付けて実施する体制が整った。今後この体制を維持し、新たな教材が必要な場合は購入を検討する。</p> <p>・各小学校においてプログラミング教育が円滑に導入され、浸透してきたので、本事業の当初の目的は概ね達成できたと考える。</p>				
	達成度	A	必要性	C	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「ー」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・以前、小学校教育に「外国語活動」が導入された折、各学校から代表者を集め「外国語活動研究会」を立ち上げ、学校間の情報交換や授業研究会に取り組んだ。しかし、学校間での意識の違いが大きく、熱心に授業研究に取り組む学校もあれば、そうでない学校もあった。一方、今回のプログラミング教育の導入は、市教委が適切にリーダーシップを取り、種々の取組を計画的に進めているので、早い段階で一定の成果を得ることができている。</p> <p>・令和2年度から、プログラミング教育が必修化されている。新型コロナウイルスの影響で、整備した教材を使って研修会を行う予定だったが、できなかった。2年ほど前から、モデル校での実践研究を踏まえ、年間計画の作成や授業開発などが行われており、次年度への継続・進展が大切であると考えます。</p>				
------------	---	--	--	--	--

今後の取り組み	<p>プログラミング教育の導入に伴う調査・研究事業自体は、その目的を終え終了とする。しかし、点検評価支援員の意見にもあるように、本事業の成果を引き継ぎ、教育委員会がリーダーシップを発揮し、担当者会議や研修を継続的に行うことを通じて、プログラミング教育の質を高める。また、今後の取組の中で、必要に応じて教材購入するとともに、学校間格差が出ないように留意する。</p>				
	方針	5			

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	5
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	小中学校情報機器等整備事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦学校等の適正配置の推進と就学前・小・中連携、一貫教育の工夫と推進、ICT環境の整備		
事業の目的・内容	<p>令和2年度は、GIGAスクール構想に基づき、小中学校の児童生徒に1人1台端末を整備や長期休業に備えたオンライン授業のための整備、インターネット環境のない家庭の児童生徒を学びから取り残さないための家庭学習用モバイルルーターの整備を行う。</p> <p>また、学校現場において端末の導入を円滑に行い、整備した端末を有効に活用するため、ICT支援員を配置する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>校内外のネットワーク環境整備を行い、1人1台端末を全児童生徒に配布・貸与することができた。また家庭学習用モバイルルーターも必要数貸与できたことで、誰1人取り残すことのない学びを保障するためのICTを活用した学習環境を整えることができた。</p> <p>また、ICT支援員についても効果的に巡回、サポートができたため、端末導入に関する教員の支援を行うことができた。</p> <p>今後は各学校での端末活用について試行錯誤を重ねながら、効果的な活用方法を確立していかなければならない。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	B

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒への1人1台の端末配布・貸与およびICT環境の整備により、本事業は無事に終了した。今後は、各学校において、パソコンやタブレットを活用した授業実践を積み重ね、より有効な活用方法を見出ししていかなければならない。その際、機器使用を目的とするのではなく、「学習目標を達成するために、いつ、どのように機器を活用するのか」という視点を大切にしていきたい。</li> <li>校内外のネットワーク環境を整備し、1人1台の端末をいち早く全児童生徒に配布貸与することが完了し、インターネット環境のない家庭へモバイルルーターを貸与している。ICT支援員のサポートも行われており、パソコンの使用目的を明確にして、情報機器の活用をさらに推進していただきたい。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは各小中学校において、児童生徒・教師ともに情報端末に慣れ、持ち帰りを含めて日常的に使用できるようになることを第一に進める。</li> <li>中学校に研究校を指定して効果的な活用方法を研究し、市内に広めることを通して、市として小中9年間で身に付けさせるべき情報活用能力を示し、学校間の格差がなくなるよう努める。</li> </ul>	方針	2
---------	---	----	---

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了



令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	6
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	安全・安心メール配信システム運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑥防災教育や健康・食育教育での安全・安心な学校づくり、体力・運動能力の向上		
事業の目的・内容	保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援センターの保護者を対象として、学校等からの様々な連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡等を行うことを目的に、メール配信システムを整備する。 このシステムの特徴は、一方的に送信するだけでなく、回答機能を装備しており、各種アンケートや会議の出欠等、迅速かつ的確な集計等が行えることである。 また、気象庁と連携していることから気象警報発令時には即座に気象メールが配信され、地震等の緊急時にも安否確認が自動的に発信される。				

担当課による自己評価	成果・課題	令和2年中の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う全国一斉休業の際には、速やかに保護者への連絡ができた。また、学童保育等の希望の有無を回答機能を利用して把握する等、行政サービスのきめ細やかな運用に効果を発揮することができたことから、今後も有効に回答機能を活用したい。 令和2年度末時点の加入率は99.3%であった。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>99.3%の加入率は、現在の児童生徒数から見ると、ほぼ全員が加入していると考えてよいと思われる。市教委をはじめ各校園所の取組に敬意を表したい。宇陀市の子どもたちの安全を守り、保護者に安心してもらう貴重なツールとなっているので、今後もこの取組を継続し、活用方法についても工夫を加えていくことを期待する。</li> <li>緊急時の安否確認など、双方向の連絡が行えるシステムである。新型コロナウイルス感染症拡大時には、迅速な連絡が可能となった。学童保育や気象警報、地震などにも有効であり、在校生の登録データも継続利用が可能となったことから、加入率は99%を越えている。時代変化に対応した教育環境の一つと言える。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	今後も引き続き、臨時休校、臨時休園の連絡をはじめ、気象警報や地震、不審者情報の連絡等適切な情報発信を本システムにより行っていく。 全保護者に登録してもらえるように適宜案内を行う。	
	方針	2

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	7
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	宇陀市学校施設長寿命化計画策定事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑥防災教育や健康・食育教育での安全・安心な学校づくり、体力・運動能力の向上		
事業の目的・内容	学校施設(小学校6校、中学校4校、学校給食センター1施設)について、各施設の状況や将来的な需要見通しを踏まえ、学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、効率的・効果的な学校別施設別の事業手法の選択、予防保全的な維持管理、計画的な修繕や改善等を通じてライフサイクルコストの縮減を図り、併せて中長期的な視点から財政負担を軽減・平準化を図ることを目的とする。				

担当課による自己評価	成果・課題	令和2年度で宇陀市学校施設長寿命化計画を策定することができた。今後の課題として、本計画を実効性のあるものとするために、学校と教育委員会と他の部局と横断的な連携・調整を行いながら、本計画の見直し等を行い、学校施設のマネジメントを推進する。また、推進するに当たって継続的な進行管理を行い、必要に応じて社会経済情勢の変化に合わせて見直しを行う。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・本事業の目的は、「計画策定」なので、一応、本事業の目的は達成されたということだと思う。ただ、唐突にも国は、パソコンと教科書、ノートなどを机上に並べられるよう、教室の児童生徒用機の大型化の方針を打ち出した。そのためには、教室の面積を広げることも必要になるということだが、恐らく令和2年度策定の本計画には含まれていないと思われる。新たな課題となるが、検討を要する。</p> <p>・給食センターの老朽化が著しいが、設計業務の委託まで進んでいる。小中学校は、この10年間で耐震や改修の工事がなされ、整備管理されていると言えよう。令和2年度に長寿命化計画が策定され、中長期的な視点でも連携・調整がなされている。今後も、パソコンを含む情報化の進展や学校規模の適正化などを踏まえ、定期的な見直しを着実に行っていただきたいと考える。</p>
------------	---

今後の取り組み	策定した長寿命化計画に基づき、予防保全的な維持管理、計画的な修繕や改修を進める。また、社会経済情勢の変化や、関連する計画の策定・変更等が行われた場合にも、変化に応じた見直しを行う。	
	方針	5

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	8
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	新型コロナウイルス感染症に対応した学校教育活動支援事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう
		Ⅲ基本方針	⑥防災教育や健康・食育教育での安全・安心な学校づくり、体力・運動能力の向上
事業の目的・内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業が長期に及んだ影響により、学習の定着が不十分な児童生徒に対し、個別にきめ細やかな学習指導を行ったり、児童生徒数が過密な学級を少人数に分けた学習を行ったりするため、必要な学習指導員を配置する。 また、学校再開後の毎日の児童生徒の検温や学校施設の消毒作業など、新型コロナウイルス感染症対策のために純粋に増えた教員の業務を支援するために、必要なスクール・サポート・スタッフを配置する。		

担当課による自己評価	成果・課題	本事業は10月から開始された。 学習指導員については、学校再開後、生活のリズムに乱れが見られたり、学習活動に適応しにくかったりする児童生徒に寄り添い、個に応じた指導が行われた結果、徐々に改善が見られた。また、学級担任や授業者の負担が軽減されたという報告を受けている。 また、スクール・サポート・スタッフについても、日々の学校施設の消毒作業など、事業実施前と比較すると、教員の負担軽減が大いに図られ、通常の教育活動に専念することができたという感想が聞かれた。				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「ー」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度、小学校を訪れる機会が多かったが、スクール・サポート・スタッフが校内を丁寧に消毒して回る姿をよく目にした。消毒だけでなく、校舎内外の環境整備など、常に体を動かしてサポートに取り組んでいた。コロナ禍での学習指導に取り組まなければならない教員たちにとって大きな支えとなり、児童生徒の学習を保障することにもつながったと思われ、今後も継続されることを期待する。</li> <li>刻々と変化する新型コロナウイルスの影響は、児童生徒や保護者、教職員の日々学習や生活に大きく現れた。特に、臨時休業中の学びの保障は、学校再開後に、感染拡大防止と健康安全の保持と重ねて、教職員に大きな負担と責任を負わせることとなった。こうした危機を乗り越えるため、10月から始まった本事業は、教員の本来の仕事に専念できる一歩につながり、児童生徒の学びの保障や安心感につながったと考える。この危機を共に乗り越えるため、継続が必要であると考える。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見えない中、本年度と同様に、感染症予防対策を図りながら学校教育活動を継続していくことが求められる状況が続く間は、可能な限り必要な人員を確保し、教員の負担軽減を図るとともに、個別の指導が必要な児童生徒の資質・能力の向上に資することができるように努める。	
	方 針	3

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	9
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	宇陀市学校規模適正化検討事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦学校等の適正配置の推進と就学前・小・中連携、一貫教育の工夫と推進、ICT環境の整備		
事業の目的・内容	全国的に少子化が進む中、宇陀市においても小・中学校の小規模化が進んでおり、今後もこの傾向は続くものと考えられる。このような現状を踏まえ、今後、想定される学校規模等の課題に計画的に対応することを目的として、宇陀市学校規模適正化検討委員会を設置し、子どもの今と未来を見据えて、よりよい教育環境を整備するために今後の本市の学校の在り方について検討する。				

担当課による自己評価	成果・課題	8月及び10月に実施した市民対象の中間報告会での意見も踏まえ、適正な学校規模及び配置の在り方を示す答申を予定どおりに行うことができた。 中間報告会での市民の参加者が少なかったという課題を踏まえ、今後は、地域住民、特に学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子どもの保護者に一層の周知を図り、将来の具体的な学校の在り方について、多くの市民の共通理解の下、事業を進める必要がある。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	B

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・この20～30年の間に、宇陀市内の小中学校数は3分の1ほどに減少し、1校区の面積は広がった。母校がなくなり、同校区なのに地理が分からないという市民も多くなった。そのため、地域の学校という意識も低下しているように思われ、そのことが報告会に参加する市民が少ない理由の一つではないか。その中で、いかに市民と共に考え、共通理解を図るのか、深く検討しなければならない。また、本事業と過去の学校統合の折に市が市民に語ったビジョン(例えば室生小中学校)との整合性をどのように取っていくのか等についても検討しておく必要があるのではないか。</p> <p>・少子化は、全国的な流れであるが、宇陀市の小学校でも数年後には、複式学級が生まれる可能性があるなど、課題に直面している現状にある。8月と10月には、中間報告会が市民対象に行われ、答申も出されている。「宇陀市の未来を託す子ども」を中心に据えて、保護者の願いや意見を集め、事業を進めていただきたいと願う。</p>				
------------	---	--	--	--	--

今後の取り組み	<p>地域住民、特に学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子どもの保護者に対し、これからの学校をつくる当事者として積極的に議論に参画していただいた上で、学校適正化に向けた基本方針を策定する。</p> <p>そのための手立てとして、アンケート調査のみならず、学校、園で保護者が集まる機会等を積極的に活用して説明会を行うとともに、新たに市の学校適正化を推進する委員会を設置し、委員にはPTAや自治会など各組織の代表者として、各組織で議論した上での意見を持ち寄ってもらえるように努める。</p>				
	方	針	3		

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート			事業番号	10
事業の情報	事業名	成人式事業	担当課	生涯学習課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう	
		Ⅲ基本方針	④一人一人の意見を大切にす豊かな権意識の醸成と道徳的実践力・国際感覚豊かな子どもの育成	
事業の目的・内容	新成人が親や周りの大人達に保護されてきた子供時代を終え、自立し、大人の社会へ仲間入りすることを激励・祝福するために成人式(式典・記念行事)を開催。			

担当課による自己評価	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度(令和3年1月11日(祝))成人式開催においては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するため、総合体育館を会場とし、マスク着用、検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保等を行い実施した。</li> <li>・対象者281名の内、204名の参加。(出席率72.6%)※過去10年平均77.7%</li> <li>・式典及び記念行事の時間短縮を行い、また、時間を費やす写真撮影のスムーズな運営に取り組み、終了後の飲食自粛の周知により、陽性反応者を出すことなく終えられた。</li> <li>・コロナ禍における成人式のあり方を検討し、時代に応じた開催内容等を実行委員会と協議する必要がある。</li> </ul>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年(R3.1.11)の成人式に社会教育委員として参列したが、感染対策は充分なされていたし、宇陀市の新成人も感染対策を意識した真面目な態度で参加していて、コロナ禍の中でも成人式を開催できることが証明された。今後、コロナ収束を願っているが、万が一収束が見通せない事態となって令和2年度の成人式をモデルとして、新成人のアイデアも生かして、時代に応じた成人式を創りあげていくことができると期待している。</li> <li>・成人としての自覚を高め、社会人として規範意識を育む貴重な機会が保障され、新型コロナウイルス対策を丁寧かつ確実にやり、実施できたことは大きい。終了後の飲食自粛や実行委員会の積み上げなど、今後の事業にも成果を広げ、さらに検証を重ねることで、よりよい成人式を追求していただきたいと考える。</li> </ul>				
------------	---	--	--	--	--

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典等を通じて、成人としての自覚、社会人の出発点としての規範意識を高めていく大切な機会であるため、今後も心に残る意義のある成人式を開催する。</li> <li>・民法改正に伴い、20歳を対象とする令和5年(2023年)1月開催の式典名称を令和4年中に決定する。また、令和5年開催から、「成人の日」の前日(3連休の日曜日)開催することは、既にホームページ等で周知を行っている。</li> <li>・開催に当たっては、新型コロナウイルス感染防止対策を万全を期して運営できるように検討・協議を行いながら進める。</li> </ul>				
	方	針	2		

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	11
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	図書返却ポスト回収等事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう
		Ⅲ基本方針	③コミュニティスクールの構築をめざした学校と地域の連携の推進
事業の目的・内容	インターネット及び電話による図書貸出の予約を受け、大字陀・菟田野・室生の公民館への配送サービス(受取場所の設置)及び各地域に設置の返却ポストの回収。 また、大字陀図書館や、幼保こども園等・小中学校への団体貸出の回送を行う。(回収・回送業務については、現在、シルバー人材センターへの委託により実施)		

担当課による自己評価	成果・課題	(成果) 図書の返却ポスト及び受取場所の設置は、利用者の利便性の向上に必要である。また、各幼保こども園・小中学校への図書の団体貸出事業の実施においても、回送業務があつてこそ対応が可能となっている。 ・令和2年度返却ポスト利用冊数 10,330冊 ・ " 団体貸出利用冊数 8,478冊  (課題) 返却ポストの利用は、市民の方々に浸透してきたが、各地域での受取場所の利用については、一部の方の利用に留まっている。インターネット予約の活用も含め、利用者への更なる周知が必要である。				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校との連携を密にして、図書の団体貸し出し事業を進めることで、「調べる学習コンクール事業」への参加を希望する児童生徒の調べる環境が整うのではないかと。また、インターネット予約の活用については、中央公民館の講座(スマホ講座)と関連させて周知の一助とすることもできるのではないかと。一つの事業をその事業内のみで完結させようとするのではなく、他担当の事業も含めて、多面的に見ることで、よりよい解決の方法を見いだすことができるかもしれない。</li> <li>幼稚園や保育所、小中学校などへの団体貸し出しにより、利用者の利便性が図られ、本に親しむよい機会の創出につながっていると思われる。返却ポストも回収事業に支えられ、利用者の利便性につながっている。さらなる周知により、利用者を少しずつ増やしていきたい。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体貸出については、授業や調べ学習などに活用いただけるよう各学校との連携を図りながら、運用していきたい。</li> <li>各地域の公民館への配送サービスについては、図書館から遠い地域にお住まいの方々に読書を楽しんでいただくためにも、広報紙やホームページ等により周知に努めたい。</li> <li>インターネット予約の活用については、生涯学習関連課と連携した講座の開催などについても検討していきたい。</li> </ul>	方針	2
---------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	12
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	宇陀市図書館を使った調べる学習コンクール実施事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑤問題解決力やコミュニケーション力の向上、「夢に向かってチャレンジ」意欲の醸成		
事業の目的・内容	<p>市内の小学校・中学校の児童生徒が、学校・公立図書館の資料や自らが観察、実験するなどして得る様々な情報を活用して「調べる学習」を行うことを通じ、「自ら考え、課題を解決する力」や「生きる力」を養い、それに伴い図書館の利用が一層促進されることを目指す。</p> <p>・「調べる学習」により、主体的に学ぼうとする意欲、自分なりのテーマを追求し、「情報を活用する力」を身に付ける。                  ・知的好奇心、語彙力、読解力、思考力の向上を目指す。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>(成果) コロナ禍においての事業実施となり、夏休みの短縮等に伴い、児童生徒が当該学習に取り組む期間も短かったと思うが、小学校4校から9作品の応募があった。また、審査により、5作品を選出の上、表彰。うち上位2作品を全国コンクールに応募の結果、2作品共、入賞(佳作)となった。</p> <p>調べる学習の実施により、各々の児童が自ら決めたテーマに基づき、学習を進めることにより、目標達成に向け、取り組むことができた。</p> <p>(課題) 今後、一人でも多くの児童生徒がこの事業に取り組めるよう、周知及び実施方法等の工夫に努める。</p>				
		達成度	C	必要性	A	有効性
	※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可					

点検評価支援員の意見	<p>・学校においてもデジタル機器の活用が進む中、紙媒体による文字の読み書きの重要性も指摘されている。図書館の書籍を活用し、自ら調べたり考えたりして自分が見つけた課題を解決していく経験は、児童生徒の理解をより深くしていこう。これが、本事業の意義であろう。一方、文科省や県教委は、「教員の働き方改革」の観点から、公立・民間を問わず、各種団体に対して、学校に作品募集等を依頼する際の学校の負担軽減を求めている。このことに対する配慮も必要である。</p> <p>・インターネットにすぐ頼るのではなく、学校や図書館の資料などから必要な情報を活用することは深い理解や思考力の向上につながると言われている。年々応募が減っており、より具体的な事例を紹介したり、教科の主任者会で説明したりするなど、周知方法や関心意欲が高まるよう、更に改善を望みたい。</p>				
------------	---	--	--	--	--

今後の取り組み	<p>・図書館において、調べる学習に関する図書コーナーの充実や、受賞作品の展示を行うなど、児童生徒が当該事業に関心を持ち、取り組みやすい環境整備に努める。</p> <p>・学校との連携を図るとともに、広報紙やホームページ・フェイスブック等を通じ、保護者等へも事業の意義をアピールすることで、より多くの児童生徒がこの事業に取り組めるよう働きかけていく。</p>				
	方針	2			

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	13
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	図書館機能充実事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑤問題解決力やコミュニケーション力の向上、「夢に向かってチャレンジ」意欲の醸成		
事業の目的・内容	市民の方々に「いつでも、どこでも、誰でも」読書を楽しむことができる生涯学習環境を作ることを目指し、図書館機能の充実を図る。 子ども読書活動推進計画の内容を受けて、幼保こども園等及び小中学校との連携強化を図るとともに、市内で活動するボランティアグループとも連携し、情報を共有しながら活動することにより、子どもたちに図書館の魅力を発信し、読書活動の推進に努める。 (令和2年度の利用状況等) 利用人数 26,607人 貸出冊数 98,129冊 購入冊数 2,876冊				

担当課による自己評価	成果・課題	(成果)デイジー図書の導入及び「この本よんで～4・5歳からのおすすめ絵本～」の作成により視覚に障害のある方や、子育て世代への応援が図れた。また、コロナ対策をしながら、徐々にではあるが、お話会・折り紙教室・本の福袋などの事業の実施やボランティアネットワーク会議の開催ができたことは、読書活動の推進につながったと思う。また、コロナ対策としての、図書消毒機の導入やパーテーション設置等は、今後市民の安心安全な図書館利用に、意義深い事業となった。 (課題)コロナの感染状況に対応しながら、赤ちゃんから高齢者まで、全ての市民に身近で親しみやすい図書館として役目を果たせるよう機能の充実を図る。				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての市民にとって親しみやすく身近な図書館は、宇陀市の住みやすさにつながり、市の財産の一つとなる。今後も本事業の目的追求を継続していただきたい。また、図書消毒機の導入やパーテーション設置は、コロナ対策としてだけでなく、従来からある感染症や今後も発生するかもしれない新たな感染症の対策としても有効であると思われるので、コロナ収束後も継続していただきたい。</li> <li>デイジー図書の導入や「おすすめ絵本の紹介」、お話会、幼稚園・保育園・小中学校への団体貸し出しボランティアネットワーク会議の開催など地道な活動が続けられている。また、コロナ対策として、図書消毒機の導入やパーテーション設置などの工夫改善も行われている。今後も図書館の魅力を発信し、機能の更なる充実を望みたい。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もコロナウイルスの感染状況に十分配慮しながら、安心安全に図書館を利用できる環境整備に努めるとともに、生涯学習情報発信の拠点として、身近で親しみやすく、また時代に適応した図書館を目指す。</li> <li>幼保こども園等及び小中学校との連絡会議や、ボランティア団体の方々とのネットワーク会議を通じ、互いに連携しながら読書の楽しさや必要性を広く市民に伝える。</li> </ul>	方針	2
---------	---	----	---

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了



令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	14
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑧子どもの貧困や格差のない、安心・安全な地域づくりの充実		
事業の目的・内容	市の将来のまちづくり活動に取り組む意欲を持ち、市の活性化を図る人材を育成することを目的に、経済的理由により修学困難な生徒に対して修学奨励を図り、高等学校、大学等の入学支度金として修学奨励資金を支給する。 修学奨励資金を支給することで生徒の学ぶ意欲に基づく学習環境づくりを支援するとともに、家庭状況によって子どもの進学に不公平さが出ないように努める。				

担当課による自己評価	成果・課題	令和2年度の支給状況は、高等学校等8名(前年度6名)、大学等7名(前年度3名)となっている。 検討課題であった必要とする生徒に行き渡っているかどうかについて分析したところ、高等学校等の申請状況は67%と7割近い申請状況であったため、一定の周知は出来ていると見られるが、今後もより多くの市民に知ってもらえるように手法を検討する。また令和2年度の事業成果として予算額上限まで申請が来たため必要性・有効性も高い状況だと言える。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度より支給人数が増加しており、担当課の努力や工夫が感じられる。ただ、コロナ感染拡大が収まらない現状を考えると、今後更に失業や休業を余儀なくされる家庭が増える可能性もあり、本事業への申請者が増えるかもしれない。宇陀市としても予算的配慮をしていただきたい。</li> <li>非課税世帯が対象となっているが、その3分の2くらいが入学支度金を受けている。子どもの夢を実現するため、学びの保障と進学しやすい環境づくりの一助として、継続していくことが大切だと考える。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	今後、新型コロナウイルスの影響などにより、家庭の経済状況がより厳しくなっていく可能性がある。家庭の経済的な理由により修学が困難な生徒へ支援するために必要な事業であり、引続き事業を継続する。また、令和2年度については予算額上限まで申請がきたので、より多くの修学困難な生徒を支援できるように令和3年度の予算については、増額を検討し、実施する。
	方 針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	15
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教育相談事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑨就学相談、教育相談、子育ての悩み等相談体制の充実、すまいるネットワークの充実		
事業の目的・内容	市内各学校・幼稚園・保育園の教員、子ども、保護者からの相談に応じ、学校や家庭の枠組みを超えた子どもへの関わりや指導について助言することを通して、課題解消を図ることを目的とする。必要に応じて子どもの発達検査を行い、発達上の課題があれば保護者へ通知し、個に応じた適切な支援が行えるようにする。				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>専門の相談員による助言を得ることができるため利用者から評価が高く、幼稚園・保育園を卒園しても、継続して相談を受けるケースが多い。現在の利用状況を停滞させることなく事業を継続する必要がある。</p> <p>様々な問題を抱える子どもたちが年々増えてきている中で、相談希望者の増加に伴い、相談員に負担がかかっている部分がある。今後も保護者や教員のニーズに応じていくためには、時間増や人員増の対応も考えていく必要がある。</p> <p>令和2年度は147件、230回の相談実績があった。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度の相談実績が147件、230回の現状を見ると、時間増や人員増は急務である。ベテラン相談員だから数をこなしても大丈夫という考えがあるとしたら、危険である。経験豊富な故に、新たなケースを過去のケースと混同してしまうことも起こり得るが、一人に関わる時間や回数が増えれば、この危険は回避できる。時間増や人員増については、「対応も考えていく」段階ではなく、喫緊の課題と捉えるべきである。</li> <li>学校、幼稚園、保育園の教員と保護者、子どもが臨床心理士による教育相談を受けている。市費3名、県費非常勤3名の体制で、令和2年度は147件、230回と相談希望者は増加しており、拡充の方向で推進する必要がある。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<p>評価支援員の意見にもあるように、一人のベテラン相談員に依存している現状は、持続可能な取組であるとは言えない。市民のニーズに十分に対応できるように、直ちに新たな心理士を雇用し、配置する必要がある。</p> <p>また後継者育成にも力を入れ、教育相談業務が停滞しないように努める。</p>	
	方 針	1

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	16
------	----

事業の情報	事業名	子どもフェスタ事業	担当課	生涯学習課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②地域全体で子どもを見守ろう	
		Ⅲ基本方針	⑩地域を基盤とした子どもの体験活動、行事等への参加の機会への支援	
事業の目的・内容	遊び体験を通じて、仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成を図る。			

担当課による自己評価	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもフェスタ実行委員会を5月に開催し、開催可否について協議した。</li> <li>実行委員会において、交流を深めるための体験イベントであるため、新型コロナウイルス感染を防止しての安全・安心なイベント開催の確保が困難と判断し、令和3年度においても中止と決定した。(令和2年度:中止)</li> <li>体験イベントをどのような体制、内容なら開催できるか検討する必要がある。</li> </ul>				
	達成度	—	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「—」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>「遊び体験を通じて、仲間づくりや参加者の交流を深める」という本事業の目的から見て、密を避けなければならないコロナ禍の中で子どもフェスタ開催は非常に困難で、不可能に近いと思われる。今は、コロナ収束後に、宇陀市一丸となった子どもフェスタを実現できるようにするための準備期間と捉えたい。</li> <li>例年1,000人以上の大人や子どもが集まり、遊び体験を通して交流を深めるイベントとなっている。新型コロナウイルスの影響を受け、体験イベントであるこの事業は中止となった。実行委員会がその都度、立ち上げられており、今後の開催については、十分な協議検討と改善方法を探っていたきたいと考える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全、安心に交流を深める体験イベントができるよう、早く世の中の新型コロナウイルス感染終息に期待するとともに、次回開催のボランティアの協力が得られるよう準備に伴う実行委員会は開催する。</li> </ul>

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全、安心に交流を深める体験イベントができるよう、早く世の中の新型コロナウイルス感染終息に期待するとともに、次回開催のボランティアの協力が得られるよう準備に伴う実行委員会は開催する。</li> </ul>	方針	2
---------	---	----	---

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	17
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	子ども活動支援事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	①地域を支える共助(ボランティア活動等)の推進		
事業の目的・内容	地域社会力を生かし、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援することによって、子どもたちの学習補助や体験学習、登下校の見守りなど、子どもたちが安全で安心な学校生活を送れるよう環境を整える。				

担当課による自己評価	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6校・中学校4校の宇陀市内全校において、それぞれの学校の特色、地域の実情を生かし協働して実施。 地域学校協働活動事業: 登下校安全指導、学校内環境整備(美化活動) 放課後子ども教室 : 平和学習、文化体験、工作教室 等 学習補助(地域未来塾): ボランティアによる学習支援(放課後、夏休み)</li> <li>・事業を実施するに当たりコーディネーター(リーダー的協力者)の確保が課題である。</li> <li>・スクールバスの運行時刻等により、放課後に行う事業に時間の制限がある。</li> <li>・コロナ禍においても、地域の方々が多数参画して頂ける取組が必要である。</li> </ul>				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、文部科学省、奈良県教育委員会が提唱していた「学校・地域パートナーシップ事業」が、この「子ども活動支援事業」にあたると思う。学校、保護者、地域、各種団体、各種委員が一つになり、子どもたちを守り、育てていこうというものである。この事業を実際に有効なものとしていくためには、前述の学校、保護者、地域等が集まり、協議する場を設定することが欠かせない。初めは学校が主導せざるを得ないが、徐々に地域の人材に引き継いでいき、その中からリーダー的協力者を育てたい。</li> <li>・地域ぐるみで学校をサポートするため、登下校の見守りや環境整備、学習補助、文化体験学習など様々な活動が地域の特色を生かして行われている。本年度は、新型コロナウイルスの影響で制限を受けたり、中止したりしたものがあつた。今後も継続するため、コーディネーターの確保やコミュニティー協議会のあり方など、協議検討をいただき、地域に合う支援方法を探ることが望ましいと考える。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域と共にある学校づくり」を進めるため、各学校において「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」と「地域学校協働活動」を一体的に推進できるよう環境を整える必要がある。</li> <li>・近年、子どもたちの体力・運動能力の観点から見ると、筋力や反射神経が低下している状況である。運動する動機付けに、地域及び学校の特色を生かした外遊びやスポーツを取り入れた「放課後子ども教室」が開催されるよう図っていく。</li> </ul>	
	方 針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	18
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	青少年育成支援事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	①地域を支える共助(ボランティア活動等)の推進		
事業の目的・内容	青少年自らが自立の力と豊かな創造力を培い、未来を担う健全な社会人に成長するために、家庭・学校・地域社会が連携して安全を守り、あいさつ・声かけ等を行うことにより、青少年の健全な育成及び社会参加と地域活動の促進を図る。				

担当課による自己評価	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティアによる小学生登下校時の見守り、声かけ運動を実施。</li> <li>・スポーツ少年団等、子どもの育成に携わる団体による青少年の健全育成。</li> <li>・11月1日に中高生が考えた標語作品掲載ティッシュを市内5か所にて配布し、健全育成の啓発活動を実施。</li> <li>・青少年健全育成協議会、青少年指導員及び関係機関と共に、市内コンビニエンスストア等を巡回し、有害図書の販売指導を実施。</li> <li>・市内小中学生が、事件や犯罪に巻き込まれないよう「あいさつ運動による地域の方との交流の促進」及び「SNSを正しく安全に利用する方法の周知」を行う必要がある。</li> </ul>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針には違いがあるが、事業内容は「子ども活動支援事業」と類似のものがある。整理できるものは整理したり、二つの事業の連携を図ったりして、より有効な事業に深化させたい。</li> <li>・基本目標にある「地域全体で子どもを見守ろう」が大切である。登下校を見守る地域ボランティアやそれをサポートする住民、家庭教育や学校の指導などが一体となって、効果が発揮される。日常の声かけや健全育成のための啓発活動、青少年育成協議会の地道な活動などつながって進展していくと考える。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全を脅かす様々な社会問題がある中で、事件や犯罪に巻き込まれないよう、特に「SNSを正しく安全に利用する方法の周知」を行う必要があり、青少年健全育成協議会等諸団体と連携して、啓発活動を積極的に進めていく。</li> <li>・関係機関と共に「あいさつ運動」を推進し、子ども同士はもとより地域の方とのつながりを持つことで豊かな人間関係を育み、安全な地域社会づくり、青少年の健全育成を図る。</li> </ul>
	方針

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	19
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	適応指導教室運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	⑮いじめや不登校など、子どもをめぐる問題への対応		
事業の目的・内容	市内小中学校の不登校児童生徒の自立を図ることを目的に、個別の状況に応じた心理的ケア等適切な指導や学習の機会を設定し、登校への意欲を高めることなどにより在籍校への復帰を促す。また、保護者、教職員に対しても不登校児童生徒等に関わる相談を行う。				

担当課による自己評価	成果・課題	令和2年度は6名の通室生徒が在籍し、週2日、4名の指導員と補助員が相談・指導に当たるとともに、学校との連携・調整を行った結果、2名が自分で時間を決めて登校できるようになった。 しかし、通室しているのは不登校児童生徒の一部であり、まだ多くの不登校児童生徒がおり、その子どもたちへの支援の手立てが課題である。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・十人十色と言うように、子どもが不登校になる原因は、一人一人違う。不登校に陥ってしまっただけからでは難しいとは思いますが、子どもや保護者の話に耳を傾ける機会を多くし、原因の把握に努めていただきたい。個に応じた支援は、ここから始まる。これは、本来、学校がすべきことである。そして、子どもが抱える問題の解消に専門的な心理的ケアが必要と判断したとき、適応指導教室の出番になる。このプロセスが適応指導教室の課題解決には必要であると考えている。</p> <p>・令和2年度市全体では、45名の不登校児童生徒がいると聞いている。個々に実情も違えば、保護者の考えも多様であり、心理的なケアを含めた学習機会を設定して、登校意欲を少しずつ高めていきたい。4月より、週3日の運営となるが、実態に合わせた支援が大切であり、社会とつながる力に一步ずつ進めることが望ましいと考える。</p>
------------	---

今後の取り組み	<p>引き続き、不登校に悩む児童生徒を学校と連携して支援していく。適応指導教室が本人にとっての居場所であると思ってもらえるように心理士や元教員の指導員がサポートし、社会的自立と必要に応じて在籍校への復帰を促すように取り組んでいく。</p> <p>また、開室日を増加することで適応指導教室への入室の門戸を広げ、一人でも多くの不登校児童生徒を減らしていくよう努める。</p>	方針	1
---------	---	----	---

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	20
担当課	学校給食センター

事業の情報	事業名	学校給食賄材料購入事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③家庭の豊かな教育力を育もう
		Ⅲ基本方針	⑩自他の命を大切にする心や人に対する「いたわり」や「やさしさ」のある子どもの育成
事業の目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちに「安全で安心な美味しい給食」を提供するため、国産物資、国内加工、無添加食材を基本として購入する。奈良県給食会と連携し、積極的に情報収集を行い食材の安全性などを図る。</li> <li>アレルギー対応については、園・小・中学校と連携を図りながら保護者が安心できるような対応を心掛ける。</li> <li>「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、学校給食地産地消促進事業として数値目標を掲げ、市の予算措置により地産地消を推進する。</li> </ul>		

担当課による自己評価	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用食材の安全衛生管理を徹底する。その方策としては、次のとおり実践している。①食材の産地表示の義務化 ②加工食品については、原材料及び産地の確認 ③学校給食衛生管理基準に基づく食品検査を実施している。</li> <li>・アレルギー対応としては、献立の成分内容(アレルゲン)の明確化によるアレルギー除去食対応(内容についても保護者及び学校に情報提供を行い共有する。)</li> <li>・地場産物(市内・県内産)の積極的な購入により地産地消を推進する。《まち・ひと・しごと創生総合戦略「学校給食地産地消促進事業」の数値目標》学校給食地産地消率(市内産野菜・きのこ類の重量比率)H27(基準値)10.5%⇒R1(目標値)35.0% R2(実績値)37.4% ◆学校給食費食材購入費:97,163,608円 (地方創生総合戦略)地産地消促進事業費:1,499,677円</li> <li>※評価として例年は、献立に対する保護者の声を聴く場としての給食試食会を幼稚園、小・中学校で年間10回程度実施していたが、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。</li> </ul>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「ー」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため給食試食会を実施できなかったことは仕方がない。食育の授業は実施できたことで、子どもたちの学習への影響を少なくすることができてよかったと思う。食材の地産地消率が年々上昇して、去年は37.4%になった。生産者の協力もあると思うが、給食センターの取組の賜と思う。市外から転入してきた子どもたちや教員から、「宇陀市の給食はおいしい」と聞くことが多く、誇らしく思う。給食の「地産地消」、「おいしい」は、市外への宇陀市のアピール材料と成り得るのではないかな。</li> <li>・アレルギー対応については、常に、園、小中学校と連携し、保護者も安心できる体制で進められている。また、学校給食地産地消促進事業では、重量比率で37.4%にまで伸ばしており、着実に成果をあげている。新型コロナウイルスの影響で、給食試食会はできなかったが、食育の授業を7回実施し、給食配送車にかかる学習などが行われている。できる範囲で取組を進め、日々の安全管理の徹底を望みたいと考える。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用食材、施設等の安全衛生管理を徹底し、市単独補助金を有効活用した地産地消の推進を進め「安全・安心でおいしい給食」を継続する。</li> <li>・アレルギー対応について、「宇陀市学校給食食物アレルギー対応検討委員会」を軸として、学校及び保護者へ正確な情報提供を行うとともに、個人情報や安全管理に努める。</li> <li>・給食試食会などについては、今後のコロナ禍の状況に合わせた方策を考えていくようにする。施設見学の受け入れについては、現在行っている方法(学校に施設側より訪問を行う。)を続けることで、子どもたちの食育を進めていく。</li> </ul>	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	21
担当課	学校給食センター

事業の情報	事業名	新学校給食センター建設事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	⑱自他の命を大切にする心や人に対する「いたわり」や「やさしさ」のある子どもの育成		
事業の目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の学校給食センターは、昭和50年築(46年経過)となって、老朽化が進んでいる。</li> <li>子どもたちに「安全・安心でおいしい給食」を提供するためには、衛生管理の整った施設の確保が必須となっている。</li> </ul>				

担当課による自己評価	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度においては、「新学校給食センター基本計画」に基づき、候補地の選定を行った。</li> <li>令和2年2月21日に、最終候補地の大字陀の野依小学校跡地に係る地元説明会(第1回目)を行った。その後、新型コロナウイルス感染症の影響によって、第2回目の説明会が令和2年7月31日となったが、地元住民の理解を得られたことにより、令和2年12月の宇陀市議会に報告を行い承認された。</li> <li>設計業務委託は、令和3年度予算よりのスタートとなったが、早期に事業を進める必要があると考える。</li> </ul>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定地が決まり、建設工事が無事に、順調に進むことを期待する。しかし、実際に移転するまでにはまだ数年を要すると思われるので、その間、現在の給食センターが「安全、安心でおいしい給食」を提供するための機能を保てるよう、施設の維持管理に注力していただきたい。</li> <li>給食センターが老朽化すると、修理部品もなくなり、職員が加工して修理対応している現状にある。2回にわたる地元説明会を行い、市議会にも報告され、承認されている。設計業務から始まるが、早期の事業推進を望みたい。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学校給食センター建設までは、現在の学校給食センターで「安全・安心でおいしい給食」を持続的に提供できるように、職員全員で徹底した衛生管理の下、施設運営を行っていく。</li> <li>本年度は、基本設計及び実施設計を出来る限り遅延なく進めていくように、設計業者との連携を密にし情報共有に努める。</li> </ul>	方針	1
---------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了



令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	22				
事業名	働く子育て世代の図書館利用の充実事業				
担当課	中央図書館				
教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③家庭の豊かな教育力を育もう			
	Ⅲ基本方針	⑩幼児期の教育・保育体制の充実、親の「学び、子育て」を支える環境づくり			
事業の目的・内容	<p>働く子育て世代と子どもたちの図書館利用の充実を図るため、中央図書館の開館時間を4月から9月の水曜日と土曜日の午後5時から6時まで1時間の延長(7月・8月は、2時間の延長)を実施する。</p> <p>また、図書館フェスティバルにおいては、絵本作家による「絵本ライブ」や映画会などを開催し、親子が共に過ごせるレクリエーションの場を創出する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>(成果)・新型コロナウイルス感染拡大のため、やむなく休館や利用制限を行うなか、開館時間の延長は実施できなかった。</p> <p>また、図書館フェスティバルの実施においても、開催予定日が、新型コロナウイルス感染拡大時期と重なったことにより、残念ながら開催ができなかった。</p> <p>・主要な事業である開館時間延長及び図書館フェスティバルの開催はできなかったが、コロナ対策を行いながら、徐々にではあるが、館内でのお話会及び各園所等での出張お話会等の行事の開催をすることができた。</p> <p>(課題)コロナ禍でもできる事業の内容を検討する。</p>				
	達成度	C	必要性	A	有効性	B

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・コロナ禍のため当初の計画遂行が困難になってしまったが、可能な限りの対策を行い、図書館運営に取り組まれていることを評価したい。働く子育て世代と子どもたちのために、宇陀チャンやオンライン配信の工夫を提案したが、「著作権」との関わりで、既存の書籍をもとに映像化することは困難であると聞き、やむを得ないと理解した。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響により、開館時間の延長や図書館フェスティバルは実施できなかった。そこで、宇陀チャンを利用した絵本ライブなどが検討されたが、著作権の課題などが大きく影響して実施には至らなかった。今後も、親子が共に過ごせる場の創出を工夫し、実施していただきたい。</p>
------------	---

今後の取り組み	<p>・密にならない会場や、人数制限など、コロナ禍でも開催できるイベントについて検討し、親子が共に過ごせる場を創出することで、働く子育て世代を応援していきたい。</p> <p>・開館時間の延長については、コロナ収束の状況を確認しながら、実施について検討していきたい。</p>	
	方 針	3

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	23
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	通級指導教室運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	㊸インクルーシブ教育の充実(違いを認めあい全員参加型を目指す教育)		
事業の目的・内容	小中学校の通常学級に在籍しているが、言語障害や学習障害、ADHD等により学習面や生活面で困難のある児童生徒が、自立した学校生活や社会生活を送れるようすることを目的として、担任以外の専門指導教員が個に応じた指導を行う。また、保護者、教職員、児童生徒に対しても相談業務を行う。				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>現在、榛原小学校で「ほほえみ教室」、榛原中学校で「ひだまり教室」を開室しており、令和2年度は小学生37名、中学生19名が通室した。令和元年度からは小学校、中学校入学時点から通級による指導を受けることができるように入学前手続きの運用も始めており、幼小中の接続を強化した。</p> <p>在籍校以外でも通級指導を受けられるように、令和2年度から指導員による巡回指導を一部の学校で始めたが、今後は全校での巡回指導を行えるように環境整備を行う必要がある。また、通級による指導を受ける児童生徒の増加に伴い、スタッフの増員や後継者の育成が今後の課題となる。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の違いを尊重する通級指導教室では、個に応じた指導が欠かせない。小・中併せて56名が通級しているとのことだから、56通りの指導、支援が必要な状況に比して、指導員やスタッフの人数は充分とは言えない。早急な指導員、スタッフの増員が求められる。</li> <li>小学校の通級指導教室から始まり、中学校での開室や入学前の運用手続きなど、幼小中の接続強化も図られ、ますますニーズは高まる実情にある。指導員による巡回指導も一部の学校で始まっており、さらに児童生徒の増加が見込まれていることから、スタッフの確保と専門性を有する指導者の育成が急務となると思われる。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<p>巡回指導を始めたこともあり、通級による指導の拡充を求める声が増加している、指導員は主に県費教員であるため、指導者の追加配置を要望する。</p> <p>また、県費教員のみでの配置では対応が難しいほど、支援の必要な児童生徒が増加しているため、引き続き、通級指導教室指導員として市費で指導者を雇用し、児童生徒のニーズに応えられるように適切な配置を確保する。</p>	
	方針	2

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	24
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	市美術展事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	③個人や社会のニーズに応じた学習機会の整備と充実		
事業の目的・内容	美術を愛する市民の創作活動の成果を発表する場として、絵画・書芸・写真・彫塑工芸部門を設け、市美術展覧会を開催。				

担当課による自己評価	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、「奈良カエデの郷ひらら」を会場とし、4日間(10月31日から11月3日)開催し、応募作品98点を述べ999の方が観覧に来られた。</li> <li>応募作品とは別に、文化会館・公民館活動の作品、園児の作品、中学校書道部の作品、図書コンクールの作品を展示。</li> <li>令和3年度は、開催場所を文化会館に移し、全館を利用して展示を行う予定であり、来場者が観覧しやすいよう展示方法を工夫する必要がある。</li> </ul>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動は人生を豊かにしてくれる。市民の文化芸術活動の場の一つとして、市美術展事業は、意義深いものである。しかし、高齢化が進み、公共交通網も縮小が進み、会場に足を運ぶことが難しい人が増えている。市美術展覧会を一会場に限定せず、作品移送の課題もあると思うが、移送可能な作品だけでも、巡回展覧会にする等の工夫はできないものだろうか。</li> <li>例年、出展数や観覧数、会場など様々な課題を抱えながら、開催されている。園児や中学生など広く作品を募集したり、会場を変更したりして、工夫改善されている。今後も、より多くの人が作品を展示し、会場に行きやすい環境づくりがよいと考える。</li> </ul>				
------------	--	--	--	--	--

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度においては、「文化会館」を会場とし、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、11月5日から11月8日までの4日間開催予定。</li> <li>市民の文化芸術活動の発展に寄与するため、今後も文化協会及び公民館等の協力のもと開催内容等を工夫しながら、作品発表の場を提供する。</li> </ul>				
	方	針	2		

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	25
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	宇陀シティマラソン事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②④スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励		
事業の目的・内容	宇陀市の豊かな自然の中で、心身の健康維持を目的とし、「走ろう宇陀！ふれあう心」をスローガンに宇陀シティマラソンを開催。 市役所周辺を会場にファミリー（1キロ）、2キロ、3キロ、10キロの4コースを設定し、市内外から参加者を募る。				

担当課による自己評価	成果・課題	新型コロナウイルス感染拡大防止により、令和元年度(令和2年3月)・令和2年度(令和3年3月)の2か年中止している。 今年度も令和4年3月に開催予定をしているが、実行委員会において、新型コロナウイルス感染状況を踏まえた開催の可否、マラソン大会のあり方について協議をする必要がある。				
	達成度	—	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「—」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇陀市にとって大切な事業の一つに位置付けられると思うので、コロナが収束し、予定通り開催できることを望んでいるが、コロナ感染の先行きは見通しにくい状況が続いている。開催可否を判断するときは、状況に応じて躊躇することなく決断するべきである。</li> <li>・宇陀市最大のスポーツイベントであり、ボランティアと参加者で2,000人程が集まる事業となっている。新型コロナウイルスの影響により、2年続いて中止となっている。実行委員会において、他の地域の開催方法なども参考にしながら、十分な協議を重ねていただきたいと願う。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<p>・市内外の方が多く参加される宇陀シティマラソンは、市民がスポーツに親しみ、市外の方に向けての宇陀市PRにつながっているため、実行委員会において、開催を視野に入れたマラソン大会のあり方について協議を行っていく。</p>	
	方 針	2

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	26
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	市民スポーツ大会事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励		
事業の目的・内容	広く市民にスポーツ活動を行う機会を提供し、心の健康・体力の増進・競技力の向上を目指し、生涯を通じたスポーツ活動の振興を図る。				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>・令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった競技大会が多数(14競技)あったが、感染者が減少となった9月以降の7競技大会については、無事に開催することができた。【通年、21種目の競技大会を実施】</p> <p>・多種多様なスポーツがある中、市民に競技に対して興味を持ってもらえる周知方法を検討する必要がある。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・競技種目によっては、密接、接触が避けられないものもあり、コロナによる開催中止はやむを得ないと思われる。感染対策を取ることが可能な競技については、参加者の意向や健康状態に留意し、実施し、本事業の目的を達成していただきたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響により、3分の2の競技は中止となった。近年の傾向としては、高齢化や人口減少により少しずつ参加者の減少傾向が続いているが、生涯を通じたスポーツ活動の振興にこの大会は欠かせない。引き続き、スポーツを行う機会を提供し、健康と体力の増進を目指したい。</p>

今後の取り組み	<p>・市民スポーツ大会については、体育協会の各専門部が自主的に大会を運営しているが、今後もスポーツ活動が活発に行える環境整備を図る。</p> <p>・今後も新型コロナウイルス感染状況により、国・県の開催制限等の通知があるが、安全、安心に競技大会が開催できるよう体育協会専門部会と検討・協議を行いながら実施する。</p> <p>・多種多様なスポーツがある中、市民に競技に対して興味を持ってもらえるよう、大会要項に大会風景等を掲載するなど、大会開催の周知をより一層、充実させる。</p>
	方 針

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	27
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励		
事業の目的・内容	宇陀市の豊かな自然の中で、起伏のあるロードレースに適した道路を用い、近畿各府県から高等学校自転車競技選手を招き、宇陀市のPRにつなげる。 近隣住民他、各関係機関の協力を得て、宇陀市農林会館をスタート、ゴールとする周回コース(1周6.7km 男子:12周 女子:1周)によりロードレースを開催。				

担当課による自己評価	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。</li> <li>奈良県自転車競技連盟とともに、より一層、コース周辺に居住する市民の方の協力及び時間帯通行止めの協力が得られるよう周知方法を工夫する必要がある。</li> </ul>				
	達成度	-	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度のコロナ感染拡大による中止はやむを得ない。本大会のために日々練習し、鍛錬してきた高校生たちの気持ちを考えると切ないが、参加者の健康を守るための決断と思う。余談であるが、本大会のために、交通規制の予告看板が設置されてきたが、かなり分かりにくいので、改善いただきたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、中止となった。長年続けられており、宇陀市のPRやスポーツライフの推進の一助となっている大会である。選手にとっても、大会の有無はスポーツ人生に影響を与えるものであり、観客の有無や検温、体調チェック、ソーシャルディスタンスなど対策を徹底して、協議検討し、継続し実施していくことが望ましいと考える。</li> </ul>

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者である近畿高等学校体育連盟の通知で新型コロナウイルス感染防止対策の徹底及び無観客での実施となったが、参加選手 男子109名、女子8名及び大会関係者約200名で無事に実施することができた。</li> <li>自転車競技大会ロードレースを本市で開催することにより、本市の「自転車のまちづくり」のPRにつなげ、市民が自転車競技の関心を持ち、自転車による健康志向向上及び市外の自転車愛好者が宇陀市を周遊に訪れるスポーツツーリズムに役立てる。</li> <li>より一層、コース周辺に居住する市民の方の協力及び時間帯通行止めの協力が得られるよう周知方法を工夫する。</li> </ul>
	方 針

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	28
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	総合体育館・総合運動場運営事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	④スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励
事業の目的・内容	<p>【事業概要】市民のスポーツとレクリエーションの振興を図るとともに健康増進を推進し、体育館・運動場の効率的な管理運営を行い、安全で快適な利用ができるように努める。</p> <p>【目標】体育施設の整備充実と健全な管理運営に努め、利用促進を図る。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館利用者数</td> <td>48,795人</td> <td>46,868人</td> <td>29,172人</td> <td>62.2%</td> </tr> <tr> <td>運動場利用者数</td> <td>7,728人</td> <td>8,668人</td> <td>5,326人</td> <td>61.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルスの影響により体育館は、令和2年3月9日から6月7日まで休館、運動場は、4月20日から5月31日まで休館していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めた。</li> <li>・施設の長寿命化のために、個別施設計画に基づき大規模改修が必要となる。</li> <li>・前年度と比較して利用者減少の要因として、コロナ対策による2ヶ月余りの休館とコロナ禍による大会の中止や利用控えなどが考えられる。</li> </ul>						平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率	体育館利用者数	48,795人	46,868人	29,172人	62.2%	運動場利用者数	7,728人	8,668人	5,326人	61.4%
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率															
体育館利用者数	48,795人	46,868人	29,172人	62.2%																	
運動場利用者数	7,728人	8,668人	5,326人	61.4%																	
達成度	B	必要性	B	有効性	A																

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・体育館・運動場ともに利用者数が減少しているが、これは、コロナ禍で三密を避けなければという意識が強まったためと思われる。コロナ収束後、再び、宇陀市民の健康増進の中心施設としての機能を果たすことができるよう、計画的に長寿命化を図っていただきたい。</p> <p>・市民のスポーツとレクリエーションの振興及び健康増進が目的となっている。例年であれば、5万人以上の利用があり、目的に沿った運営状況となっている。新型コロナウイルスの影響で休館していたことや休館後も利用者が防止対策のために利用をやめたことなどが大きく影響している。施設が老朽化しており、個別施設計画に基づき改修を行い、事業を継続する必要があると考える。</p>
------------	--

今後の取り組み	<p>新型コロナウイルスの影響で利用者数が減少したが、感染対策を徹底し、安心して利用していただくことで、市民のスポーツの振興や健康増進のために利用促進を図る。 また、個別施設計画に基づき、計画的な改修を進めて施設の長寿命化を図る。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針	2
方針	2		

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	29	
事業名	室内温水プール及びテニスコート管理運営事業	
担当課	総合体育館	
教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針	④スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励
事業の情報	事業の目的・内容	【事業概要】市民のスポーツとレクリエーションの振興を図り、健康増進を推進し、室内温水プール及びテニスコートの効率的な管理運営を行い、安全で快適な利用ができるように努める。 【目標】水泳やテニスを通してスポーツ振興と健康増進を図り、効率的な管理運営と利用者の増加を進める。

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール利用者数</td> <td>41,010人</td> <td>39,627人</td> <td>22,531人</td> <td>56.9%</td> </tr> <tr> <td>テニス利用者数</td> <td>5,090人</td> <td>4,251人</td> <td>4,149人</td> <td>97.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルスの影響により屋内温水プールは、令和2年3月9日から6月27日まで休館、テニスコートは、4月20日から5月31日まで休館していた。                  ・施設整備と効率的な管理により安全で快適な利用ができるよう努めた。                  ・施設の長寿命化のために、個別施設計画に基づき大規模改修が必要となる。                  ・前年度と比較してプールの利用者減少の要因として、コロナ対策による3ヶ月の休館とコロナ禍による利用控えなどが考えられる。</p>						平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率	プール利用者数	41,010人	39,627人	22,531人	56.9%	テニス利用者数	5,090人	4,251人	4,149人	97.6%
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率																
プール利用者数	41,010人	39,627人	22,531人	56.9%																	
テニス利用者数	5,090人	4,251人	4,149人	97.6%																	
達成度	B	必要性	B	有効性	A																

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・テニスに比べ、プールの利用者数減が顕著である。屋外で、ある程度の距離を保てるテニスに比べ、プールは室内で三密の可能性が高いと敬遠されたと思われる。体育館同様に、室内温水プール、テニスコートについても、長寿命化を進めていただきたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響により、休館の時期があり、例年ならばプール利用は4万人くらい、テニスも4千人以上であるが、特にプール利用者が減少している。個別施設計画に基づく大規模改修により、安全で快適な利用を進め、継続していくことが望ましいと考える。</p>
------------	--

今後の取り組み	<p>新型コロナウイルスの影響で利用者数が減少したが、感染対策を徹底し、安心して利用していただくことで、市民のスポーツの振興や健康増進のために利用促進を図る。特に温水プールは水温等の維持管理、水質検査による安全管理を行い、安全で快適に利用できるよう環境整備に努める。                  また、個別施設計画に基づき、計画的な改修を進めて施設の長寿命化を図る。</p>	方針	2
---------	--	----	---

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了



令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	30
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	小学校水泳教室事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	④スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励		
事業の目的・内容	<p>【事業概要】市内の小学校2、3年生を対象に、水泳を通してスポーツの楽しさを知り、生涯にわたりスポーツに親しむことを目的として、夏休み2日間にわたり水泳専門講師による授業を行う。</p> <p>【目標】水泳技能を学び、水泳の楽しさを知ることや基礎体力の向上、健康づくりの推進を図る。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【実績】</p> <table border="1"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>増減率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水泳教室生徒数</td> <td>131人</td> <td>124人</td> <td>0人</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルスの影響により開催していないが、水泳の楽しさを知ることや基礎体力の向上、健康作りの推進を図るために必要な事業である。</p>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率		水泳教室生徒数	131人	124人	0人	0%
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率											
水泳教室生徒数	131人	124人	0人	0%												
達成度	-	必要性	A	有効性	A											

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のための中止はやむを得ない。このまま消滅してしまうことなく、コロナ収束後、再開されることを望みたい。市内の小学生にとって、水泳を楽しみながら健康作りをするよい機会である。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により、開催はできなかった。例年であれば、4割近い小学2・3年生が受講している水泳教室であり、水泳の楽しさを知ることや基礎体力向上の一助になっており、継続することが望ましいと考える。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	子どもたちが水泳技能を学び、水泳の楽しさを知ることや基礎体力の向上、健康作りの推進を図るために、引き続いて推進する。
	方針 2

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	31
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	水泳教室事業		
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう	
		Ⅲ基本方針	④スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励	
事業の目的・内容	<p>【事業概要】水泳教室を専門業者に業務委託し、一年を通して専門講師から能力に合わせた技能を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳教室(幼児コース、児童・生徒コース、選手コース、成人コース)</li> <li>・水中エアロビクス</li> </ul> <p>【目標】ジュニアにおいては水泳の基礎技能を学びスポーツの基礎体力を付ける。また、成人は水に親しみ、水泳の楽しさを知ってもらいながら、健康増進を図る。</p>			

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水泳教室生徒数</td> <td>323人</td> <td>391人</td> <td>344人</td> <td>88.0%</td> </tr> <tr> <td>水中エアロビクス生徒数</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>7人</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルスの影響により水泳教室は、7月1日から開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアオリンピック出場者や全国高校記録保持者を輩出し、水泳選手を育てる役割を果たしている。また、成人においては、水に親しみ、水泳の楽しさを知ってもらいながらの健康づくりに貢献した。</li> <li>・水中エアロビクスは、令和3年度から自主事業とした。</li> </ul>						平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率	水泳教室生徒数	323人	391人	344人	88.0%	水中エアロビクス生徒数	10人	10人	7人	70.0%
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率															
水泳教室生徒数	323人	391人	344人	88.0%																	
水中エアロビクス生徒数	10人	10人	7人	70.0%																	
達成度	B	必要性	A	有効性	A																

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にも関わらず、生徒数の減少は僅かである。PCR検査やワクチン接種との関連は不明であるが、有料で参加していることも減少率を抑えた理由の一つかもしれない。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により、3ヶ月間休館していたが、水泳教室は300人以上が利用し、水中エアロビクス生徒も70%利用となっている。基礎技能の習得や健康作りの増進につながっており、継続の必要があると考えます。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<p>専門業者に委託し、能力に合わせて基礎技能や基礎体力を付け、健康作りの増進を行う事業であるので、今後も引き続いて推進する。</p>	方針	2
---------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	32
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	宇陀市小学校対抗子ども駅伝大会事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	④スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励		
事業の目的・内容	<p>【事業概要】・長距離走を通して子どもたちの体力向上と健全育成を図るとともに、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、豊かな人間性をつくる。                  ・「宇陀市駅伝チャレンジ大会」において、小学校5、6年生の8名1チームとして市内各小学校より集まりタイムを競う。                  ・各小学校5・6年生に希望者を募り、駅伝練習を3ヵ月間行った後、「奈良県市町村対抗子ども駅伝大会」に参加する。</p> <p>【目標】駅伝の楽しさを知り、学校の枠を越えて子どもたちの仲間意識や人を思いやる心を育てる。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	新型コロナウイルスの影響により開催していないが、子どもたちに学校の枠を超えた仲間意識や人を思いやる心の育成のために必要な事業である。				
	達成度	-	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・屋外での活動ではあるが、駅伝の形をとれば、他児童との接触を避けることは困難なので、コロナ禍の中での中止はやむを得ない。駅伝を楽しむだけでなく、他学校の子どもたちと触れ合うよい機会でもあるので、コロナ収束後、再開されることを望みたい。</p> <p>・駅伝の楽しさを体感することや健全育成の一環として続けてきたが、新型コロナウイルスの影響により、開催できなかった。第1回は7チームの参加であったが、少しずつ増え、学校の枠を超えたつながりも生まれており、体力の向上につながる事業であり、継続することが望ましいと考える。</p>				
------------	---	--	--	--	--

今後の取り組み	子どもたちの学校の枠を超えたつながりを持つ中で豊かな人間性を育み、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、体力向上につながる事業であるので、引き続き事業を進める。			
	方針	2		

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	33
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	大人のための運動教室事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	④スポーツ等を通じた健康づくり事業の支援と奨励
事業の目的・内容	【事業概要】室内温水プール及び総合体育館内の施設を利用した継続型の運動教室の開催。		

担当課による自己評価	成果・課題	【実績】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減率
		筋力体力アップ体操	12人	15人	22人	147%
		エアロビクス	21人	24人	14人	58.3%
		ピラティス	23人	25人	19人	76.0%
		ヨガ	52人	57人	57人	100%
		膝腰改善ウォーキング	49人	38人	35人	92.1%
		合計	157人	159人	147人	92.5%
		・新型コロナウイルスの影響により運動教室は、7月13日から開催している。 ・運動を始めたいと思っている人や、運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に開催することで運動の習慣化につなげていける。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・コロナ禍においても、筋力体力アップ体操やヨガについては参加者が減少していない。参加者に質問するなどして、この理由を分析し、今後の他の事業に生かしていきたい。マイナス面ばかりが目立つコロナ禍であるが、よりよい将来を創るヒントもあるかもしれない。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響により、休んでいた時期があったが、全体的に利用率は高いと考える。継続型の運動教室であり、運動の習慣化につながっていると思われる。広報などで、利用者の声を掲載するなど周知方法も工夫するとよいと考える。</p>
------------	---

今後の取り組み	<p>運動教室参加者にアンケートを取るなどして、運動教室の魅力进行分析し、今後の教室事業に生かしていくとともに、参加者の声を市民に広報して、運動教室をPRし、参加者の増加を図る。</p>	
	方針	1

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	34
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	公民館管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②学びあい、支えあい、協働できる社会教育環境づくり		
事業の目的・内容	<p>・宇陀市民一人一人が、心豊かに健康で生きがいのある人生を過ごすために、生涯にわたって主体的に学習を継続することが求められていることを踏まえ、生きる喜びを分かち合える生涯学習社会の構築を目指して、地域課題や市民の学習ニーズに即した学習機会の提供を図るとともに、地域に根ざした公民館活動を推進する。</p> <p>・身近な学習や文化活動が、誰でも気軽に活動出来るような環境整備に努め、文化的活動の機会や地域住民と公民館活動をつなぐ情報提供に努めるとともに、各種団体と協力・連携し地域の教育・文化の振興を図る拠点とする。また、自主グループの育成を推進し、各分館の施設利用率の増加を図る。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>・公民館の施設利用のほとんどは自主グループ及び定期利用団体であり、利用率は概ね順調である。さらなる利用率向上を図るため自主グループの育成に努めるとともに、現グループの活動を支援する必要がある。</p> <p>令和元年度自主グループ登録数 40団体 令和2年度自主グループ登録数 42団体</p> <p>・市民が「集い・学び・つながる」機会と場の提供のため、公民館の必要性は高く、さらなる施設の環境整備に努める。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・公民館利用率が概ね順調である点は、担当課の努力の賜と評価したい。課題の欄に「市民が『集い、学び、つながる』機会と場の提供のため、施設の環境整備に努める」とあるが、見方を変えれば、公民館に来られなければ「機会と場」は提供されないということにならないか。本事業の目的は「宇陀市民一人一人」という言葉から始まっているため、一人でも多くの人に「機会と場」を提供する努力や工夫をすることが求められる。昨年の点検評価シートの「今後の方針」の実現に尽力していただきたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で、使用料が80パーセントくらいに減っている。自主グループの育成については昨年に比べ増えており、市民が「集い、学び、つながる」機会と場の提供に繋がっている。高齢化や地域課題などの問題を踏まえ、効率的な支援と施設の耐震化を踏まえた環境整備が大切となる。</p>				
------------	--	--	--	--	--

今後の取り組み	<p>公民館講座で人気のある市民教養講座を1つでも宇陀チャン講座として放送していきたい。施設の耐震化につきましては、榛原を除く3分館は老朽化の為、宇陀市スポーツ施設等個別施設計画で今後10年以内で機能は移転統合し、施設は廃止となるので、環境整備が難しい状況だが、講座を実施するにあたり、最低限必要な整備、修繕は計画的に行っていききたい。</p>				
方	針	2			

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	35
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	各種講座・教室事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②学びあい、支えあい、協働できる社会教育環境づくり		
事業の目的・内容	<p>・市民のニーズに合った講座の充実を図り、自主グループ・リーダーの養成とまちづくり・まちおこしなど地域社会参加の促進を図る。「定期講座」は各分館にて開催し、1年を通じて初歩から応用までを学習する。「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」については各分館を会場とし、各テーマを設けて、知識の向上、趣味の輪の拡大、健康の保持や生きがいづくりを目指した講座を開設。</p> <p>・社会教育法に基づき、市民のために実生活に即した教育・学術・文化に関する各種の事業を行い、市民の教養向上、健康の増進を図り生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p> <p>参加者延べ人数 1,206人</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>・各講座・教室では応募者が定員以上になり抽選を行うものもあるが、反面、応募者が少なくやむなく中止した講座も3件あった。人気の定期講座は開催回数を増やし、参加人数が少ない講座については、内容の見直しや、開催時期の変更等をするなどの工夫を行い、必要課題と要求課題のバランスを取ることが必要であると考え。近隣市の講座の動向や市民の求める講座の把握に努める。また、周知についても広報誌や宇陀市自主放送以外にも宇陀市公式SNS等の活用など、市民への周知の方法を検討し、より多くの参加者を得るよう努める。今後さらに幅広い年代の受講生を対象とするため、時代に合った講座や開催時期、PR方法の検討が必要と考える。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「ー」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・参加者は昨年よりやや減少したものの延べ1,206人が受講している。市民のニーズに合った講座が用意されたからだと思われる。更に講座内容を充実させるために、他の施設や事業との関連を密にすることを勧めたい。例えば、中央図書館が課題としている「インターネット予約の活用」をスマホ講座の教材に取り入れるなど。</p> <p>・高齢者向けのシニア学級など希望の多い講座や教室があり、スマホ講座では「体験型でわかりやすく、楽しみながらできた」という感想をいただくなど時代に合った講座も開催されている。一方、人権講座や防災講座の応募は少なく、PRの方法や対象者、開催時期などを工夫していくことが必要であると考え。</p>
------------	--

今後の取り組み	<p>今後更に講座内容を充実させるために、他の部局、他の施設と連携を密にし、課題を共有しながら、内容を考えていきたい。特に人権講座や防災講座は応募者が少ない傾向にあるので、担当部局と共同で講座を実施したり、公民館の人気のある講座と組み合わせたり、工夫していきたい。</p>	
	方 針	2

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	36
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	社会教育推進講座事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②学びあい、支えあい、協働できる社会教育環境づくり		
事業の目的・内容	<p>・社会教育の推進及び公民館と地域の繋がりを深めるため、市内各地域のまちづくり協議会が地域の課題を解決するために開催する講座や、研修会等に講師の紹介あるいは講師を派遣し、予算の範囲内において講師派遣の費用を支援する。</p> <p>・市内にあるすべてのまちづくり協議会が事業実施し、地域の課題に取り組むとともに地域の活性化につなげる。</p> <p>令和元年度実績 13団体19事業 延べ1,277人が参加 令和2年度実績 2団体2事業 延べ47名が参加（新型コロナウイルスの影響により事業を実施出来なかった為）</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどのまちづくり協議会が事業実施を見合わせる事となった為2団体のみ申請で終わってしまったが、事業実施したまちづくり協議会の受講者からは、「久しぶりに皆と会えて、楽しい時間を過ごせて嬉しかった。」との声をいただいた。コロナ禍ではあるが、感染防止対策をとりながら事業実施することで、コミュニケーションの高揚と社会教育の推進を図ることにつながると考える。また、日頃より積極的にまちづくり協議会と関わっていく。</p>				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>・コロナ禍により人が集まりにくい状況が続いているので、事業実施を見送るのは致し方ない。コロナ収束後に備え、各地域のまちづくり協議会との連携を絶やさず、収束後も様々な支援が継続されるようにしておいていただきたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響を大きく受け、ほとんどのまちづくり協議会が事業実施を見合わせたため、2団体の実施となっている。地域課題を踏まえ、その地域住民がより主体的に立案から関わり、可能な方法で事業を継続していけるよう、支援し続けていくことが大切であると考えている。</p>				
------------	--	--	--	--	--

今後の取り組み	<p>コロナ禍で各地域のまちづくり協議会の事業が出来ない状況ではあるが、市のまちづくり協議会担当部局や、まちづくり協議会の役員の方々と連携をとり、事業が再開できる時期が来たら支援できる準備をしていきたい。</p>			
	方	針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	37
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	寄贈資料の管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②学びあい、支えあい、協働できる社会教育環境づくり		
事業の目的・内容	宇陀市に寄贈された約1万冊の貴重資料を宇陀市立図書館の蔵書として登録し、奈良カエデの郷ひららに玩槭(がんしゆく)文庫として開室する。 また、玩槭文庫の管理運営を、奈良カエデの郷ひららに委託することにより、市立図書館の資料として、市民はもとより、ひらら来場者に対しても広く周知し閲覧いただく。				

担当課による自己評価	成果・課題	(成果)玩槭文庫の資料を、広くアピールし、閲覧いただくため、奈良カエデの郷ひららと協議し、来年度からの文庫の開館日及び開館時間の拡大を検討し、実施を決定した。 また、中央図書館・大宇陀図書館に玩槭文庫のコーナーを設置することにより、市民の方々に文庫の魅力を伝えるとともに、気軽に閲覧いただける環境作りに努めることとした。  (課題)今年度は、コロナ禍のため、玩槭文庫への来館者も少なかったが、今後は、更に多くの方々に文庫の魅力を伝えられるような工夫が必要である。				
	達成度	B	必要性	A	有効性	B

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玩槭文庫の名前の由来や多様性に富む文庫の魅力についての説明を聞き、閲覧したいという気持ちが高まった。方法を工夫して、一人でも多くの市民に文庫の魅力を伝え、広めていただきたい。</li> <li>・寄贈された約1万冊の本の一部を紹介するために、玩槭文庫のコーナーなどが設置されている。本の内容も写真集や料理など、視覚的に楽しめる本が多いので、魅力を伝えられるよう、工夫改善していくことが必要である。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	中央図書館・大宇陀図書館に、玩槭文庫のコーナーを設置することにより、利用者の方々に今まで以上に文庫に興味と関心を持っていただきたいと思う。 今後も玩槭文庫の本を多くの方に閲覧いただき、楽しんでいただけるよう展示や周知方法を工夫しながら、魅力を伝えていきたい。	
	方 針	2

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了



令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	38	
事業名	文化財保存修理等補助事業	
担当課	文化財課	
事業の情報の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針	②史跡と文化財学習の推進、伝統文化の保存と継承
事業の目的・内容	国・県・市指定文化財(以下、「指定文化財」という。)の所有者(個人・宗教法人・自治会)が行う防災設備点検、建造物等の保存修理、防災設備設置・収蔵庫建設・環境整備(草刈、庭木の剪定)等の経費の負担軽減、また市指定民俗文化財を維持伝承していくため、後継者を育成するための経費等の負担軽減を図ることを目的に、これら文化財保護に関して補助金を交付する。	

担当課による自己評価	成果・課題	指定文化財の保存修理、防災設備設置・点検、環境整備、民俗文化財伝承等を実施した団体または個人に対して補助金の交付を行い文化財の保護を推進した。 令和2年度は、保存修理 3件、防災設備点検 11件、防災設備設置 1件、環境整備 2件、民俗文化財伝承事業 3件であった。 民族文化財の伝承には後継者の確保が課題である。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金を交付された団体または個人の数とはほぼ同数であるが、説明を聞き、単年度申請の継続が可能だと分かった。また、申請のためには、書物を含め正確な資料添付が求められるとのことで、新たな申請のハードルはかなり高そうである。これは、現在認められている文化財の貴重さを物語っている。</li> <li>指定文化財の保存修理、防災設備点検、民俗文化財伝承などは、毎年の積み上げがあつてこそ継続され、設備の整備された寺社などが増えていくことになる。補助金制度を活用して、郷土の誇るべき文化を継承し、発展していくことを願う。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	指定文化財の補助金制度を活用し、防火設備等の設置を推進していく。
	方針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	39
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	薬の館管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②史跡と文化財学習の推進、伝統文化の保存と継承		
事業の目的・内容	市民の歴史・文化意識の向上を図るとともに、伝統的建造物に対する理解を深めることを目的とし、内部公開を兼ねた展示施設宇陀市歴史文化館「薬の館」の管理・運営を行っている。この建物は宇陀市指定文化財である。 建物の公開・管理・運営等が主な業務で、シルバー人材センターに管理委託しているが、建物の修理等は文化財課が実施している。				

担当課による自己評価	成果・課題	宇陀松山地区の代表的な商家町屋で、薬関係の展示施設となっており多くの観光者が訪れる。生涯学習の教材として小学校等の授業にも活用されている。宇陀松山の歴史を学び、伝統的な空間を体感できる施設である。 薬の館(旧細川家住宅)は、江戸時代末期の建築と推定される。細川家は薬問屋であり、薬商として「人参五臓園」「天寿丸」という腹薬を販売。館内では薬関係の資料を中心に展示し、また、寄贈を受けた大型の鍾馗像も展示している。有料公開{入館料大人310円小人150円(団体 大人200円小人100円)}。令和2年度の入館者数は、1,641人。と新型コロナウイルス感染用予防対策で4月・5月を休館し、開館後も入場者を制限する措置をとったため、来館者数は前年より減少した。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と協力することで、学生の研究を助け、「薬の館」の展示に工夫を加えていく予定が、コロナ禍のため遅れていることは残念である。コロナ収束後の進展に期待したい。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、休館や入場者の制限を行ったため、来館者は、7割程度まで減っている。宇陀の地は、昔から薬猟の地として知られ、製薬会社の事業家などが多く生まれている。旧中尾邸の活用や大学との連携など、文化の継承と発展に向け、前向きな取組の継続を望みたい。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	重伝建地区に訪れる観光客が「薬の館」まで足を運んでくれるよう入館料のキャッシュレスを導入し、また、施設内展示に工夫を加えていく。	方針	2
---------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	40
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②史跡と文化財学習の推進、伝統文化の保存と継承		
事業の目的・内容	<p>周囲の環境と一体を成して歴史的な風致を形成している宇陀松山地区の「重要伝統的建造物群保存地区」の国選定は平成18年7月5日、指定面積17ha、平成18年度より保存事業を行っている。</p> <p>歴史的町並みの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理及びそれ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行うとともに防災施設等の整備を行う事業である。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>歴史的風致を構成する要素である伝統的建造物の中でも「特定物件(所有者の保存同意を得た伝統的建造物)」を増やすことが必要不可欠であり、また、伝統的建造物以外の建物の修景も景観の保全には必要であり、これらの修理・修景補助の件数を増やし、歴史的な町並みを保全する。</p> <p>重伝建地区の安全・安心を図る防災機器(可搬ポンプ3箇所)を設置した。また、松山地区入口にある旧中尾邸の耐震化改修工事が完了した。</p> <p>令和2年度の町家の実績は、修理7件を実施。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「重要伝統的建造物群保存地区」の国選定を受けていても、所有者の同意がなければ、通常の民家と同じで所有者が自由に改造、改築できるとのこと。課題の欄にあるように、所有者の同意を得ることが、地区全体の保存に欠かせない。同意し特定物件になることのメリットを理解してもらえよう手だてを工夫して取組を進展させていただきたい。</li> <li>・可搬ポンプ3箇所の設置と地元まちづくり協議会との話し合い、そして、訓練と一連の活動が安全・安心を高めることにつながっている。町家所有者と話し合いを重ね、建造物の修景に対して補助金を交付し、事業件数は少しであるが町並みを保全するため、継続されており、今後も推進していくことが必要と考える。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	補助金制度を活用し、歴史的町並みの景観を維持していくよう今後も町家所有者と協議していく。
	方 針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	41
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②史跡と文化財学習の推進、伝統文化の保存と継承		
事業の目的・内容	市内遺跡の発掘調査、個人の開発行為に先立つ事前の発掘調査、遺跡保存を目的とした範囲確認調査、過年度に実施した発掘調査の調査成果整理、市内遺跡の分布調査、出土遺物保存処理、公共工事に伴う事前の発掘調査等を実施し、埋蔵文化財の保護対策を講じる。				

担当課による自己評価	成果・課題	遺跡の発掘調査を行い、保護対策を講じるとともに記録を残し、後世に郷土の歴史を伝える。 宇陀地域最大規模の不動塚古墳群の発掘調査及び宇陀松山城跡から出土した瓦の復元、児童・生徒向けリーフレット「榛原の古墳」を作成した。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の基本方針に、「郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進」とある。児童・生徒向けリーフレット「榛原の古墳」作成は、この基本方針の優れた具現として評価したい。ただ、市立図書館等に置かれていない点は残念である。今後、検討していただきたい。</li> <li>・菟田野にある宇陀地域最大規模の不動塚古墳群の発掘調査や松山城跡の瓦の復元、リーフレット「榛原の古墳」作成、また、夏休みには「土器づくり」などの体験学習などが行われている。宇陀の誇るべき埋蔵文化財に触れ、未来につながる取組を継続することが大切であると考えている。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動塚古墳の測量調査と、出土遺物実測、整理を行う。</li> <li>・発掘された遺物の展示場所を見つけ、期間限定で展示していけるように進めていく。</li> </ul>	方針	2
---------	---	----	---

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	42	
事業名	史跡宇陀松山城跡保存整備事業	
担当課	文化財課	
教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針	②史跡と文化財学習の推進、伝統文化の保存と継承
事業の情報	宇陀松山城は、豊臣政権の下で、大和郡山城・高取城と並ぶ大和支配の拠点として誕生した。残念ながら城は、30年という短い期間でその役割を終えた。宇陀松山城跡の特徴として、城郭全域にわたって城割(しろわり)を受けていることが挙げられる。現在、地表観察等で確認できる城跡の状況は、城割後の姿であり城郭構造を詳細には反映していない。 宇陀松山城跡の史跡指定地は令和2年11月に3,310㎡が追加指定され、70,947㎡となり、そのうち総石垣づくりの中心郭部分22,450㎡の公有地化を実施している。整備範囲は公有地化を行った範囲を中心に城跡部分を対象とする。	

担当課による自己評価	成果・課題	平成29年10月の台風21号による豪雨により城跡南面の斜面2箇所が大きく崩落した。 また、史跡地内9箇所も法面が被災したため、城跡保存整備工事は一時中断し災害復旧事業を優先して進めている。 令和2年度は宇陀松山城跡保存整備委員会にて現地確認を行い、現状報告と今後の課題を協議した。 災害復旧工事用道路を整備した後に災害復旧事業を進めていく。 城跡の整備は災害復旧後になるため、復旧中に整備方針を固めていく。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧事業のため松山城跡保存整備事業が中断していることはやむを得ない。課題の欄にもあるように、この間に整備方針を固め、災害復旧終了後には、保存整備事業が滞りなく進められるように、準備をお願いしたい。</li> <li>・宇陀松山城の保存整備を進めるには、平成29年10月の台風21号による崩落の被害が甚大であることから、災害復旧事業が最優先である。年次ごとに災害復旧を進め、整備方針を固めて、城跡保存整備につないでいただきたいと考える。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	災害復旧工事が令和6年度までかかる予定である。今後も史跡松山城跡整備委員会で整備・活用について協議していく。
方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	43
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	史跡森野旧薬園保護事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②史跡と文化財学習の推進、伝統文化の保存と継承		
事業の目的・内容	大正15年に国史跡に指定された森野旧薬園が有する特徴や価値を良好な形で維持するために、有識者による策定委員会を開催し、旧薬園がもつ本質的価値を明らかにした保存活用計画に沿った旧薬園の保存事業を実施する。				

担当課による自己評価	成果・課題	令和2年度は、保存活用計画をもとに施設内の建造物である賽郭祠堂の改修にむけた実施設計が完了した。また薬園内の獣害がひどく、所有者の意向を踏まえ獣害対策防止柵を施設内の一部に設置した。次年度も引き続き獣害対策防止柵を設置し、賽郭祠堂の改修工事は獣害対策が終わってから実施することとなる。適正管理は森野旧薬園だけではなく、行政や地域がどのように関わり保存・管理を進められるかが今後の大きな課題である。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>所有者の意向を踏まえた獣害防止柵設置の優先実施は理解できる。課題にある行政の関わり方については、国や県に市行政が補助申請をするよりも、所有者本人が申請した方が有利であると聞くので、このメリットとリスクについて、所有者との協議を深めることから始めていただきたい。史跡とは言え、私有財産である以上、宇陀市の管理が常態化するのには不自然である。支援が必要などときには支援する。これが基本であると考えます。</li> <li>史跡森野旧薬園は、整備委員会があり、保存活用計画に沿った保存事業が実施されている。12月、火災により閉園に追い込まれた。この火災の片付けには、地元のボランティアガイドなども協力し、地域の誇るべき文化財の一つとなっていることが実感できる。賽郭祠堂の雨漏りや獣害被害の課題など、多くの問題を行政や地域、所有者がどう関わり、どう進めていくべきか十分に協議いただきたいと考える。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	森野旧薬園の保存活用計画に基づき、施設の維持管理を計画的に行っていくが、所有者と協議し獣害防止対策を優先して柵の設置などを補助金を活用して整備する。その後歴史的建造物の改修等を行っていく。
	方 針 2

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	44	
事業名	国指定天然記念物等保護再生事業	
担当課	文化財課	
教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針	②史跡と文化財学習の推進、伝統文化の保存と継承
事業の目的・内容	宇陀市内には多くの国指定天然記念物が存在し、これらを後世に伝えるためにも危機に瀕している天然記念物を保護し、再生を図る必要がある。 向淵スズラン群落は、自生地が南限地として国に指定されているが、環境の変化によりスズランが衰退傾向にある。また、特別天然記念物オオサンショウウオは、宇陀市室生の河川に生息しており、日本固有種の保護が急務となっている。大宇陀小附所在のカザグルマ自生地は、周辺樹木の成長とともに生育環境が悪化し消失が危惧されるため、生育調査や保全対策を講じている。	

担当課による自己評価	成果・課題	スズランは、これまでの観察と管理や地域住民への現地指導等も行い、令和2年度では約50,000株の生育が確認できた。スズランは播種してから開花するまで約10年を要し、今後も定期的な管理と環境整備をしていく必要がある。オオサンショウウオは、125個体が捕獲され、DNA鑑定により20個体の交雑種が確認されている。今後も生息調査等を継続し、日本固有種の保護を図る必要がある。カザグルマは、27個体群が開花している状況である。周囲の樹木の成長により照度が低下しており、生育環境を改善していく必要がある。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カザグルマの減少傾向が顕著に続いている。保護・増殖のためには周囲の環境整備が欠かせない。環境整備のためには、山林等の所有者の理解や協力が必要となる。貴重な天然記念物を守り、後世に伝えていくため、個人、団体との連携、意思疎通を密にしていきたい。</li> <li>・スズランは、約5万株の生育が確認されるまでになったが、環境の変化により、2箇所のうち、1箇所で見られる。原因を究明して、対策を早め実施することが望ましいと考える。カザグルマの自生地は47から27個体へと衰退している。個人所有地内であるが、生育環境を調査し、迅速な対応を望みたい。</li> </ul>
------------	--

今後の取り組み	引き続きスズラン、オオサンショウウオについて天然記念物の保護、再生に向け環境等調査を継続していく。 カザグルマについては減少傾向にあることから、環境調査に基づき、生育地点の照度環境の改善や周囲の木の剪定等を行い環境の改善を図っていく。	
	方 針	2

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和3年度(令和2年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	45
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	国県指定史跡災害復旧事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②史跡と文化財学習の推進、伝統文化の保存と継承		
事業の目的・内容	<p>平成29年10月21日～23日の台風21号により、国指定史跡宇陀松山城跡では11箇所法面の崩落があり、その内2箇所については大規模な崩落により、山肌を大きく露出する被害が発生した。</p> <p>本市の貴重な歴史的遺産を守るため、災害復旧事業を行う。国指定史跡宇陀松山城跡の被害は大規模な崩落のため、復旧計画の概要設計を行い、災害復旧工事の実施設計を行った。</p> <p>災害復旧工事用道路を整備するための用地買収をした後、工事に着手する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>近隣土地所有者等への説明を行い災害復旧に向け了承を得ることはできた。</p> <p>災害復旧工事を行うには工事用の道路が必要になるため、工事用道路の用地交渉を早期から実施したが、所有者の了解を得て用地を取得するのに時間を費やした。</p> <p>工事用道路整備工事は令和3年2月に着手したが、翌年度も継続して行う。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い  
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍もあり、工事用道路の用地交渉に時間がかかったようであるが、所有者の了承が得られ、工事にも着手したということで、災害復旧事業の進展を見ることができた。このことは、松山城跡保存整備事業の伸展にもつながり、担当課の努力を称えたい。</li> <li>・史跡の整備を進めるには、災害復旧工事用の道路を整備しなければならない。その一歩として、近隣土地所有者などへの説明を行い、用地取得を進めている。複数の隣地地権者がいる場合、一人でも反対されると進展しない。用地確保のあとは、道路整備が始まっている。一歩一歩の前進を期待する。</li> </ul>
------------	---

今後の取り組み	工事用道路の整備事業を進めていくとともに災害復旧事業のため用地交渉を行う。
	方針 2

※方針は次の1～5の中から選択してください。 1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する  
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了



## 5 まとめ

宇陀市では、平成 28 年 3 月に宇陀市教育大綱を策定してから 4 年が経ち、その成果と課題を踏まえ、新たな宇陀市教育大綱を策定しました。

この大綱は、宇陀市総合教育会議において、協議を重ね、4 つの基本目標とそれらを推進するための 4 つの基本方針及び 25 項目の取組をまとめています。

さて、令和 2 年度は教育大綱に沿った事業の初年度となりました。宇陀市教育委員会では、教育行政のさらなる充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、ここに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書」（令和 2 年度施策・実施事業分）をまとめました。令和 2 年度に執行した教育委員会の主な事業を宇陀市教育大綱に基づく基本方針の項目ごとに分類し、目標の達成状況・進捗状況について教育行政点検評価支援員の意見を踏まえながら点検・評価しております。本報告書については、市議会に提出いたします。

急速に少子化が進む宇陀市において、教育施策は定住促進の意味からも最重要課題です。時代の変化を直視し、これまでの知識偏重・受験重視の教育を脱し、地域の教育資源を大いに生かして総合的な教育力の向上を目指してまいります。

少数意見や多様性を尊重し、学校や地域社会からいじめをなくし、子どもたちが安心して夢に向かってチャレンジできるまちにしていまいります。

厳しい競争やストレス社会の中で生きていくために本当に必要な知恵と実行力、問題解決力とコミュニケーション力、心身の耐久性と社会性を育み、子どもたちが「私は私でいい」「私はできる」「私は誰かの役に立っている」という生きるための確かな自尊心を身に付けることを最大の教育目標といたします。

### 【参考】

#### 4 つの基本目標

- ・ 社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう ～学校でのひとづくり～
- ・ 地域全体で子どもを見守ろう ～地域でのひとづくり～
- ・ 家庭の豊かな教育力を育もう ～家庭教育でのひとづくり～
- ・ 「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう ～つながりづくり・生きがいくくり～